



ほかにはない  
アンサーを。

# オリックス株式会社

## 2020年3月期第2四半期 決算説明会

取締役兼代表執行役社長 グループCEO 井上 亮

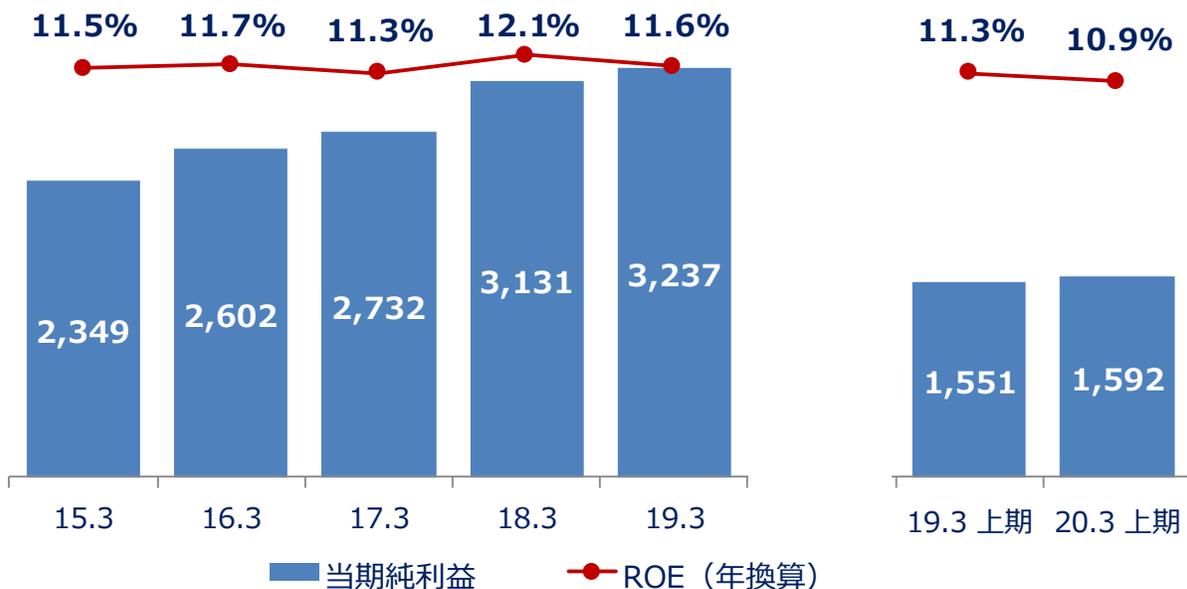
2019年10月29日

# 業績総括 (1) 当期純利益 / ROE

✓ 当期純利益は1,592億円（前年同期比2.6%増）、ROE（年換算）は10.9%

当期純利益※とROE

(億円)



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

ご参考:過去の四半期ROE



単四半期のROEは変動

# 業績総括（２）セグメント利益の内訳

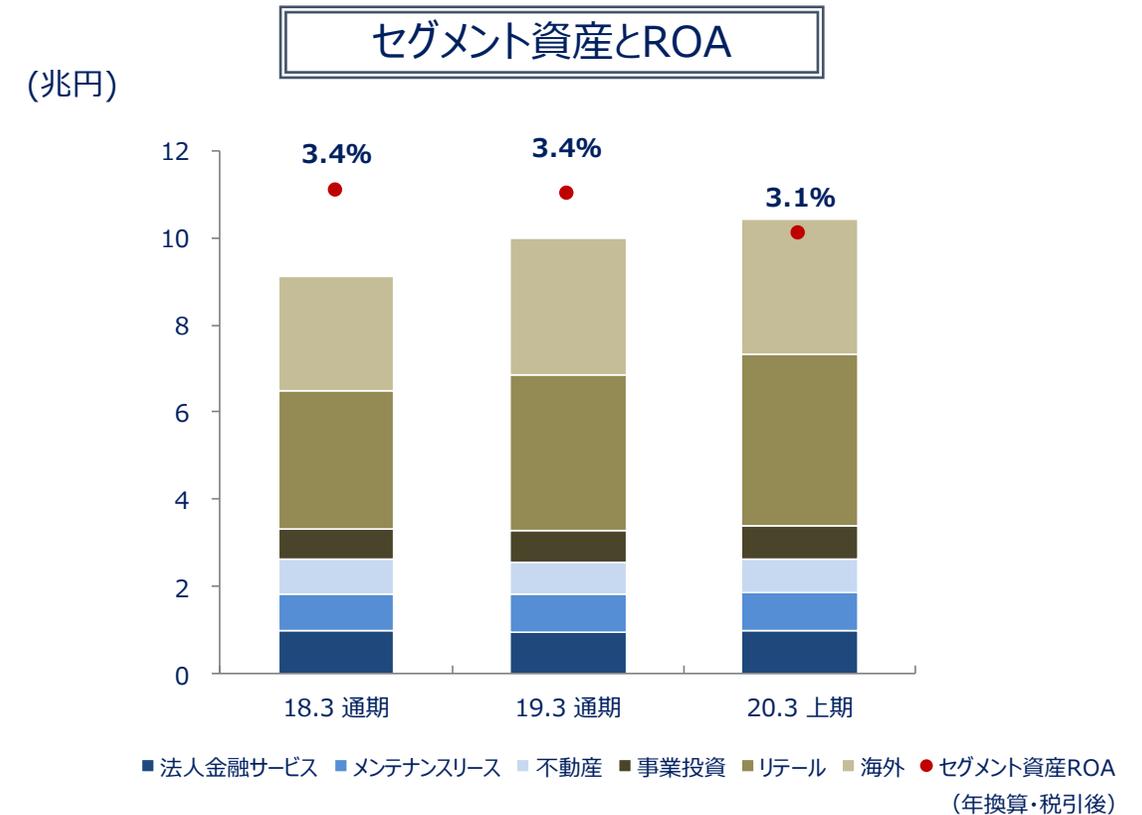
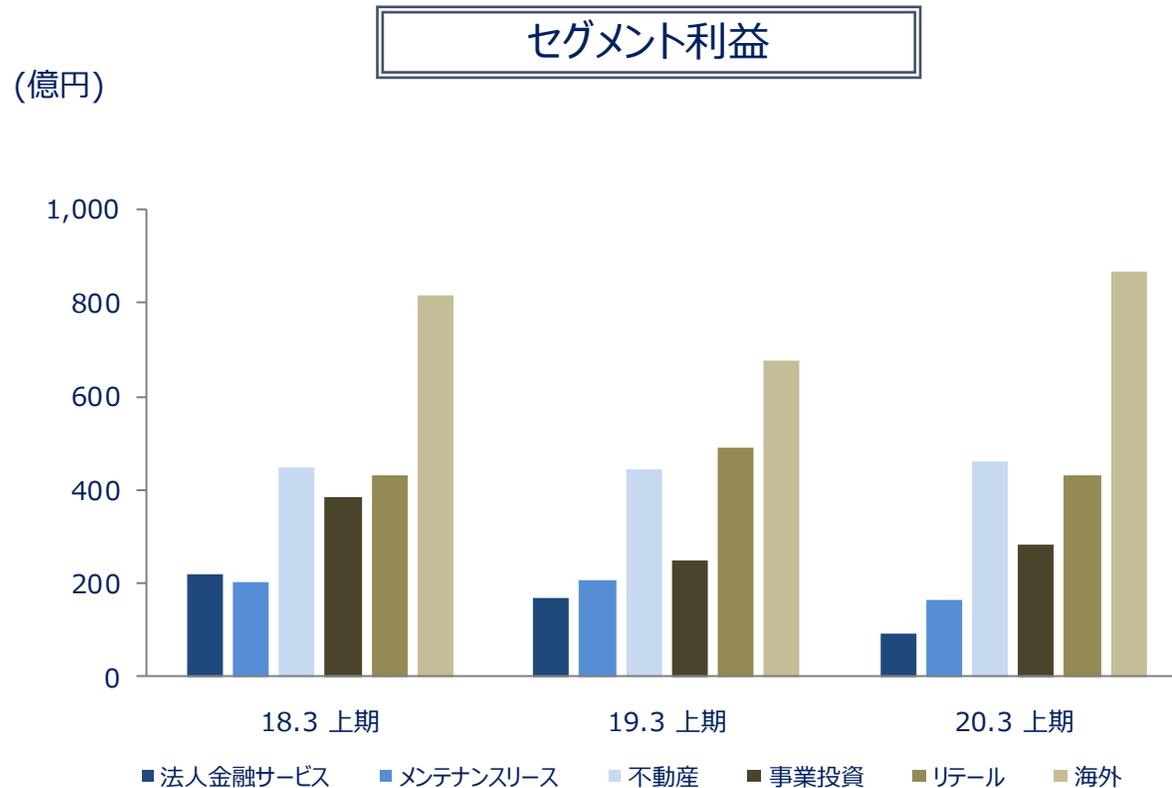
20.3期 上期 セグメント利益 <b>2,304億円</b> 前年同期比+3% (+71億円)	うち 売却益除く	1,559億円 前年同期比+3% (+46億円) 減益セグメントもあるが、新規M&Aの貢献(NXT, Avolon) もあり、前年を上回る水準を確保
	うち 売却益	745億円 前年同期比+4% (+25億円) オリックス・リビングの売却益に加え、Houlihan Lokey社の全株売却も完了

※主な売却益：賃貸不動産売却益、子会社・関連会社株式売却益、有価証券売却益など



# 業績総括 (3) セグメント利益 / セグメント資産

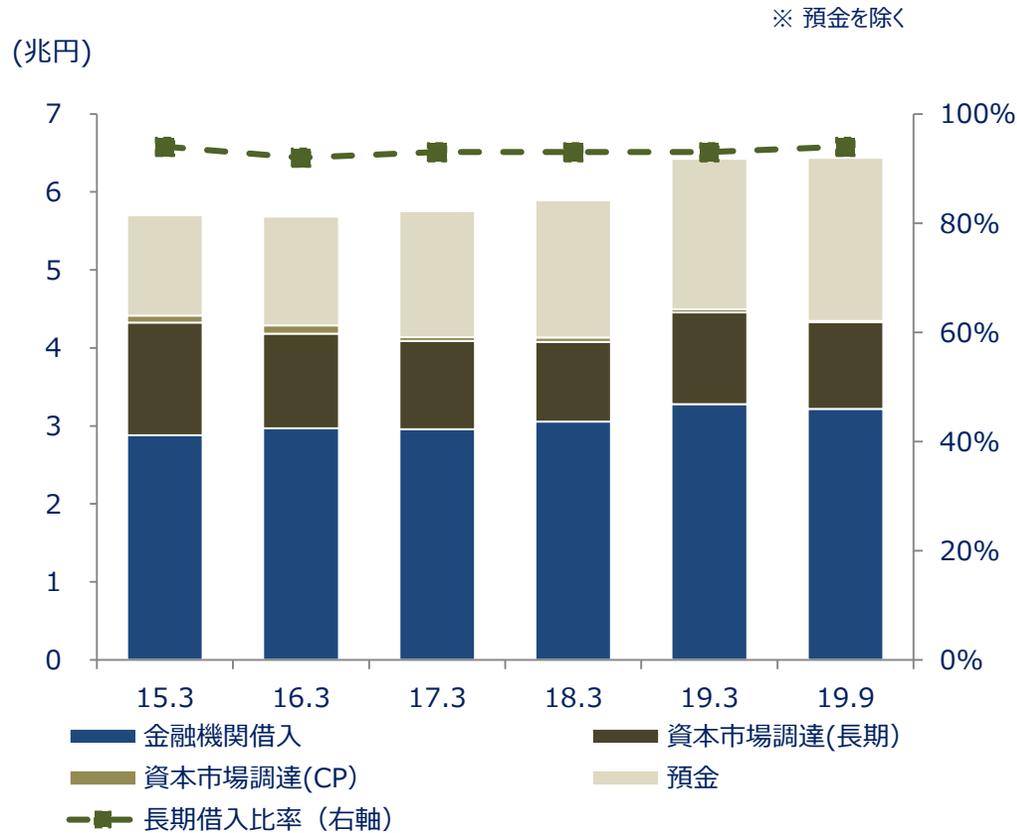
- ✓ セグメント利益：2,304億円  
前年同期比で、「不動産」「事業投資」「海外」が増益、「法人金融サービス」「メンテナンスリース」「リテール」が減益
- ✓ セグメント資産：10.4兆円 前期末比+4% (前期末比+4,350億円) \*新リース会計基準の影響約+2,000億円含む



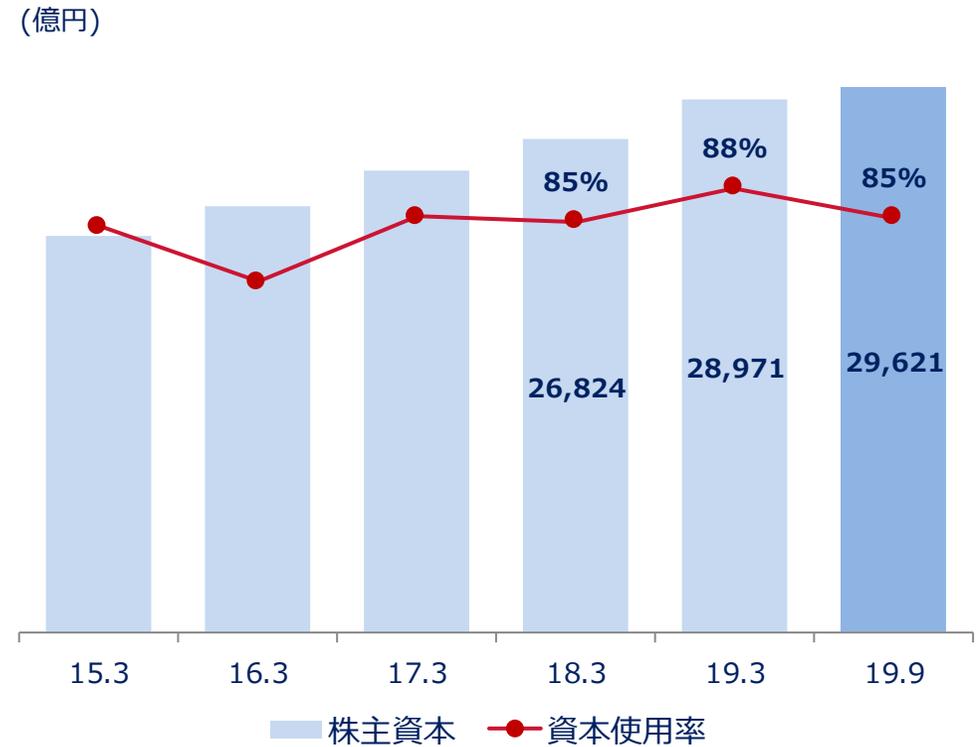
# 業績総括 (4) 資金調達構造 / 株主資本使用率

- ✓ 資金調達構造 : 資金調達手法を多様化、高い長期借入比率を維持
- ✓ 株主資本使用率 : 引き続き、リスク/リターンをコントロールしつつ成長を目指す

調達構造・長期借入比率 (※)



株主資本/資本使用率



# 「中期的な方向性」の変更について

## 現在の経営目標

- ・ROE、利益成長、格付維持の同時達成は、外部環境が不透明な局面では硬直的
- ・成長のチャンスを逸する懸念

## 背景・変更理由

- ・景気後退が鮮明になりつつあるうえ、地域・政治的リスクが増大
- ・過剰流動性により、資産価格に歪み
- ・パイプラインは開発案件が中心、コスト先行

## 変更後の基本的考え方

### 成長は続ける

既存投資はバリューアップしながら、適切なタイミングで利益実現。ROE目標は中長期的に維持

### ビジネスチャンスは逃さない

格下げ回避のためにビジネスチャンスを逃すことはしない。格付維持は最大限努力

### 株主還元の強化

投資を優先するものの、不必要な資本は維持しない。余剰資本は還元

# 中長期的な方向性について (1)

2019年3月期~2021年3月期

現在

変更後

利益成長

当期純利益 年間成長率 4~8%

2020年3月期：  
 当期純利益 3,000億円  
 (前年同期比▲7%, ただし税前利益+9%)

資本効率

ROE 11%以上

2021年3月期：  
 当期純利益 2020年5月 発表予定

健全性

信用格付 A格

健全な財務運営を継続  
 (A格維持を最大限努力)

株主還元

- ① 配当性向
- ② 自社株買い

- ① 30%
- ② 機動的な株主還元として位置付け

- ① 2020年3月期、30%もしくは76円の高い方
- ② 1,000億円を上限として取得予定  
 (期間：2019/11~2020/5)

中長期的な方向性

資本効率  
 株主還元

- ROE11%以上
- ① 配当の下限設定を検討
  - ② 機動的な自社株買いを検討 (発行株式総数の5%超過分は原則消却)

## 中長期的な方向性について (2)

- ✓ 金融危機以降、財務健全化を推進。当時と比べて各指標は大幅に改善

主要財務指標の推移	2008年3月期	2019年3月期
①財務レバレッジ D/Eレシオ (預金除く)	4.6倍	<b>1.6倍</b>
②短期調達への依存度 短期借入 + CP	1.3兆円	<b>0.3兆円</b>
③手元流動性 現金* + 長期コミットライン未使用額	0.4兆円	<b>1.5兆円</b>
④株主資本比率 株主資本 ÷ 総資産	14.1%	<b>23.8%</b>

\*銀行・生命保険の現金を含む

(ご参考) 現在の格付  
S&P : A - (ネガティブ)    Moody's : A3 (安定的)    フィッチ : A - (安定的)    R&I : A + (ポジティブ)

## 中長期的な方向性について (3)

- ✓ 2018年4月以降も、中長期的な成長目線に即したポートフォリオの入れ替えを継続
- ✓ 今後も、中長期的な視野にて、適切なタイミングでの入れ替えを推進

### 新規投資

2018年4月以降：  
新規投資額 約1.3兆円

**NXT Capital : 完全子会社化** (2018年8月)

**Avolon : 30%株式取得** (2018年11月)

**国内PE案件(コーンズ・エージ)** (2018年12月)

**大京 : 完全子会社化** (2019年1月)

**国内PE案件(ワコーパレット)** (2019年9月)

### 売却

2018年4月以降：  
売却額等 約1.3兆円

**オリックス・ゴルフ・マネジメント** (2019年3月 売却)

**United Asia Finance** (2019年6月 売却)

**国内PE案件(1件)** (2019年6月 売却)

**Houlihan Lokey** (2019年7月 全株売却)

**オリックス・リビング** (2019年8月 売却)

\*オリックス生命、オリックス銀行等の一部は集計対象に含めず

# 中長期的な方向性について (4)

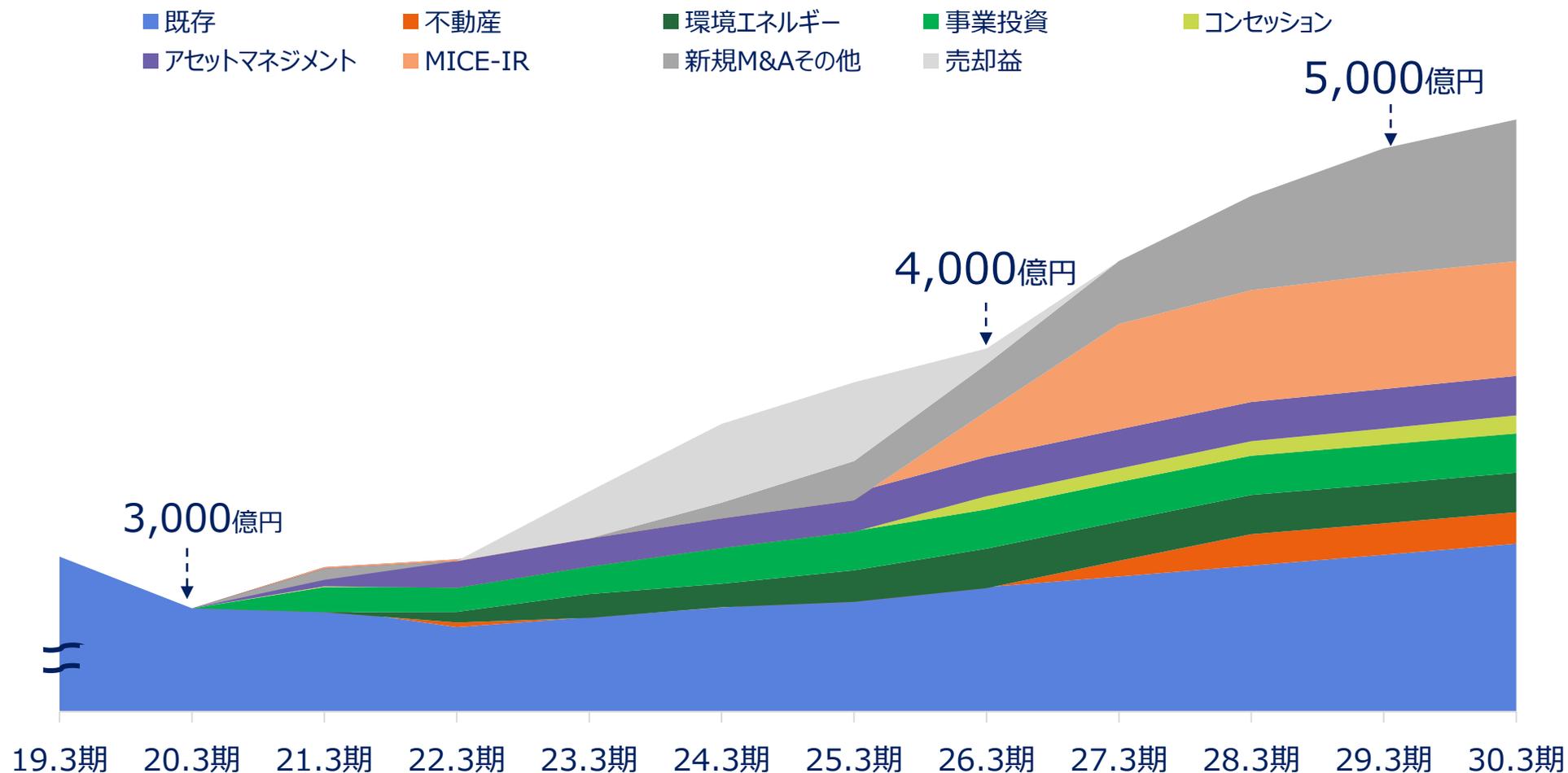
✓ パイプラインの投資実行時期と収益貢献開始時期 (想定イメージ)  
 現在、具体化している案件のみ。円の大きさは投資時期と投資規模 ★印は収益貢献開始時期

事業ユニット/分野	成長戦略	パイプライン	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期
①不動産	・大京との統合シナジー効果の創出 ・運営事業拡大、大規模プロジェクト推進	2,500億円	①物流施設 (複数)	→★				
②環境エネルギー	・【国内】地熱・風力発電 ・【海外】欧州・東南アジアの再エネ事業開拓	500億円	⑥米国AM	→★		②地熱開発PJ (5カ所)	★	
③事業投資 (PE)	・既存注力領域の深堀りと同業種ロールアップ ・既存投資先の隣接領域への投資拡張	1,000億円		②海外再エネ	★		④関空ターミナル拡張	★
④コンセッション	・関西エアポートからの収益増加 ・新たな事業分野への進出	500億円						
⑤MICE-IR	・大阪案件の獲得推進	6,500億円	⑥米国AM	★		①ホテル・旅館 (大分)		★
⑥アセットマネジメント (AM)	・広義のAuMの拡大 ・各拠点における機能の融合	1,000億円				①大規模複合開発 (大阪)		★
⑦デジタル関連	・ハードウェア提供からサービスプロバイダへの変革 ・データ分析とデジタル技術の活用による変革	1,000億円		⑦デジタル関連		⑤MICE-IR		★
		<b>合計 1.3兆円</b>						
上記以外の新規M&Aなど		1兆円						

# 中長期的な方向性について (5)

✓ パイプラインの実行、ポートフォリオの入れ替えにより、持続的な利益成長を目指す

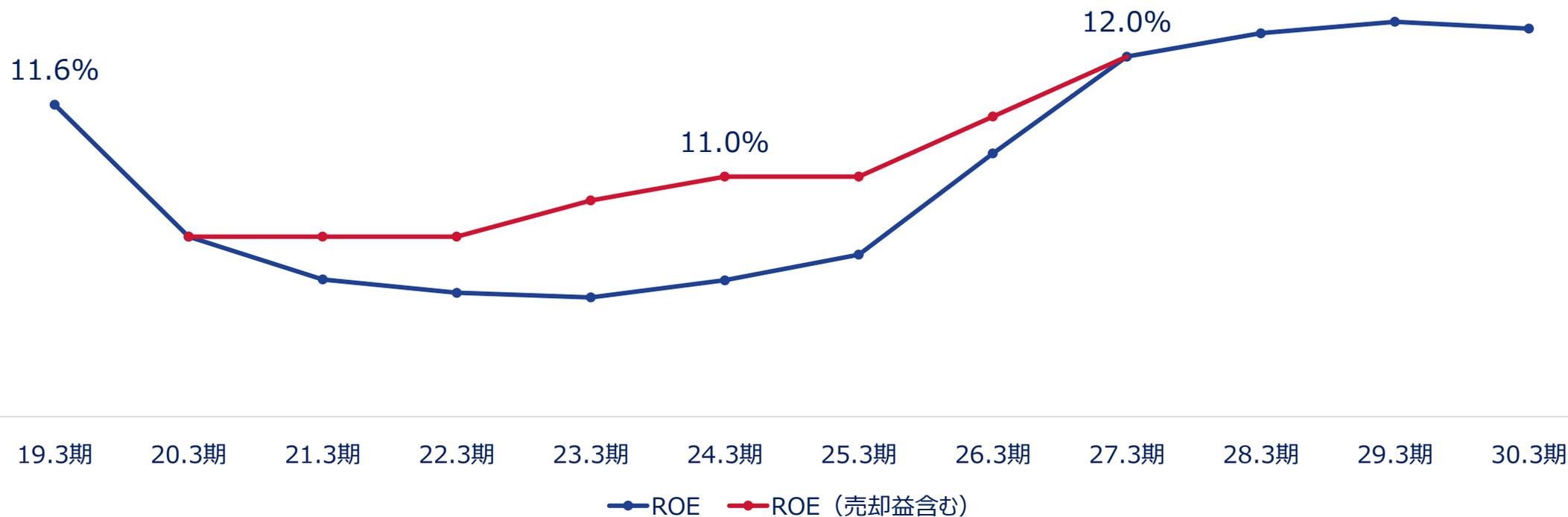
## 当期純利益の見通し



# 中長期的な方向性について (6)

- ✓ ROE11%の早期達成を目指す

## ROEの見通し



## 2020年3月期 上期業績

当期純利益は1,592億円（前年同期比2.6%増）、ROE（年換算）10.9%

**将来の成長に向けて柔軟性を確保**

**2021年3月期までの「中期的な方向性」を変更**

**ROE11%の早期達成を目指す**

**現状の健全性を保ち、A格維持を最大限努力**

**株主還元の強化**

**配当の下限設定および機動的な自社株買いの検討**

# セグメント実績

(空白)

# セグメント別業績（1）法人金融サービス

※1億円未満を四捨五入して表示しているため、各ビジネスユニットの合計値は、必ずしもセグメント数値とは合致しません



**セグメント利益：92億円**

前年同期比 ▲76億円（▲45%）

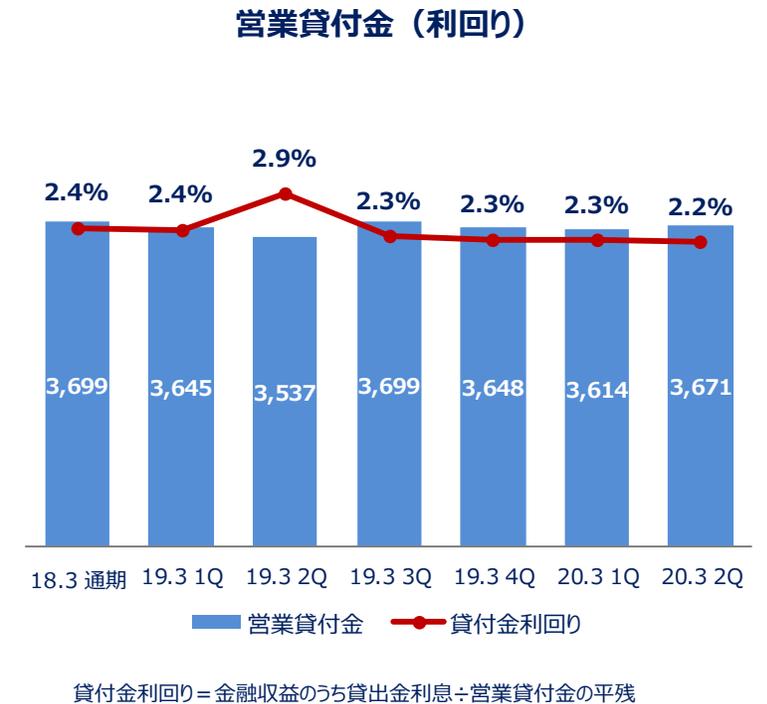
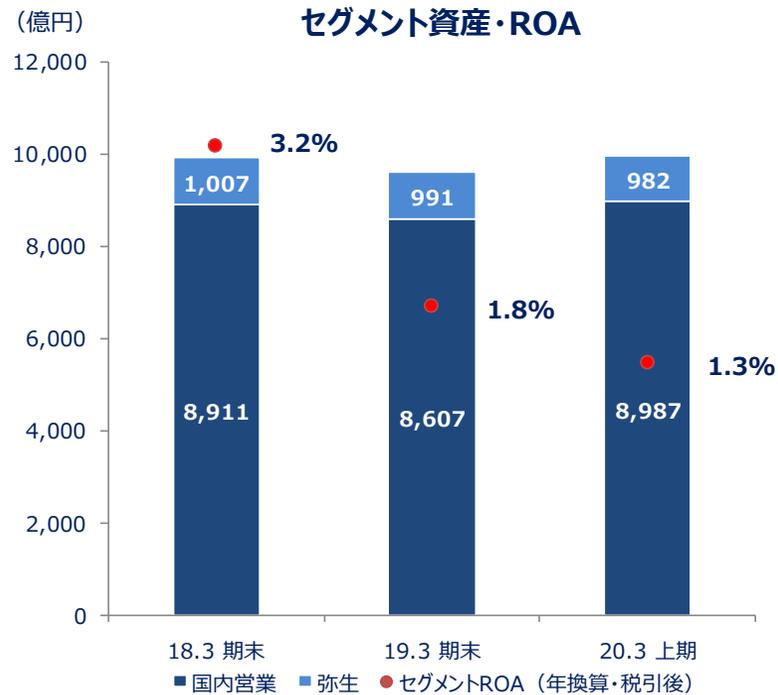
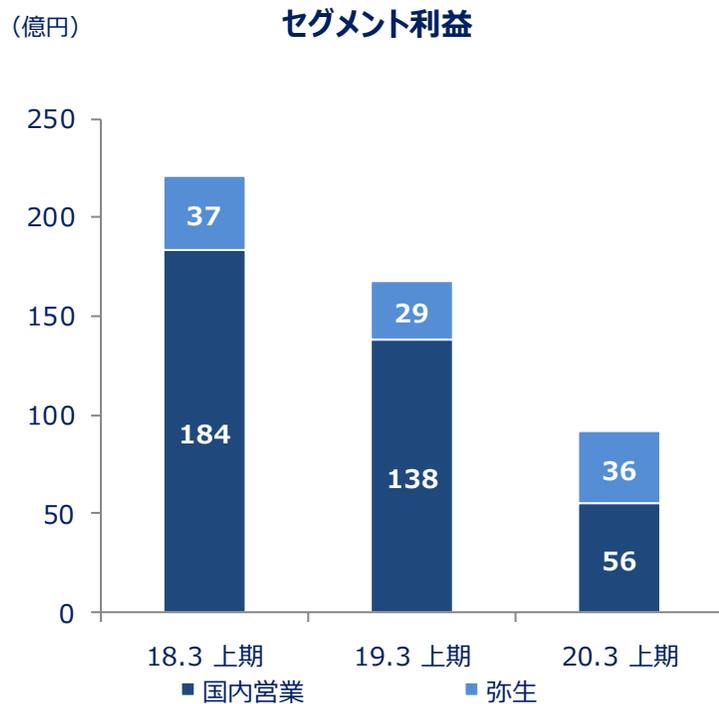
- ✓ 生命保険の代理店手数料収益減少、営業貸付金利回りは維持
- ✓ 弥生は有償サポート会員増とパッケージ製品の売上増加

【会計基準変更による影響：IDC（初期直接費用）▲9億円】

**セグメント資産：9,970億円**

前期末比 +372億円（+4%）

- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リースが増加（+568億円）



## 事業の近況

- ✓ 事業承継課題を有する中堅中小企業に対し、金融ノウハウや営業ネットワークなどを活用した事業投資を積極推進
- ✓ 低スプレッドでのアセット積み上げには慎重に対応する一方で、サービス収入の源泉の多様化を図る

# セグメント別業績（1） 法人金融サービス

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	374	360	324	307	288	157	122	78%
有価証券売却・評価損益および受取配当金	10	71	25	171	-8	10	7	68%
オペレーティング・リース収益	245	255	256	234	235	119	114	95%
サービス収入	206	343	385	403	393	205	186	91%
<b>セグメント収益</b>	<b>859</b>	<b>1,075</b>	<b>1,031</b>	<b>1,158</b>	<b>952</b>	<b>511</b>	<b>457</b>	<b>89%</b>
支払利息	91	75	62	50	41	21	19	87%
オペレーティング・リース原価	122	133	143	141	143	71	73	104%
サービス費用	53	72	75	81	101	48	60	124%
販管費および一般管理費	309	371	391	391	379	185	214	116%
<b>セグメント費用</b>	<b>610</b>	<b>658</b>	<b>682</b>	<b>688</b>	<b>690</b>	<b>338</b>	<b>381</b>	<b>113%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>255</b>	<b>424</b>	<b>380</b>	<b>493</b>	<b>255</b>	<b>168</b>	<b>92</b>	<b>55%</b>
リース純投資	5,326	5,098	4,834	4,393	4,036	4,226	3,905	
営業貸付金	4,613	4,176	4,029	3,699	3,648	3,537	3,671	
<b>セグメント資産</b>	<b>12,034</b>	<b>11,339</b>	<b>10,860</b>	<b>9,918</b>	<b>9,597</b>	<b>9,664</b>	<b>9,970</b>	
<b>ROA</b>	<b>1.46%</b>	<b>2.41%</b>	<b>2.34%</b>	<b>3.24%</b>	<b>1.79%</b>	<b>2.35%</b>	<b>1.28%</b>	

# セグメント別業績（２）メンテナンスリース

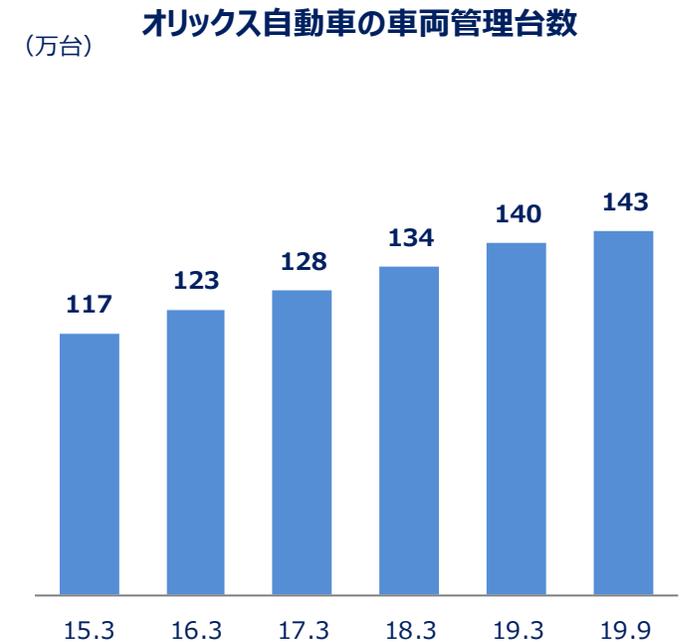
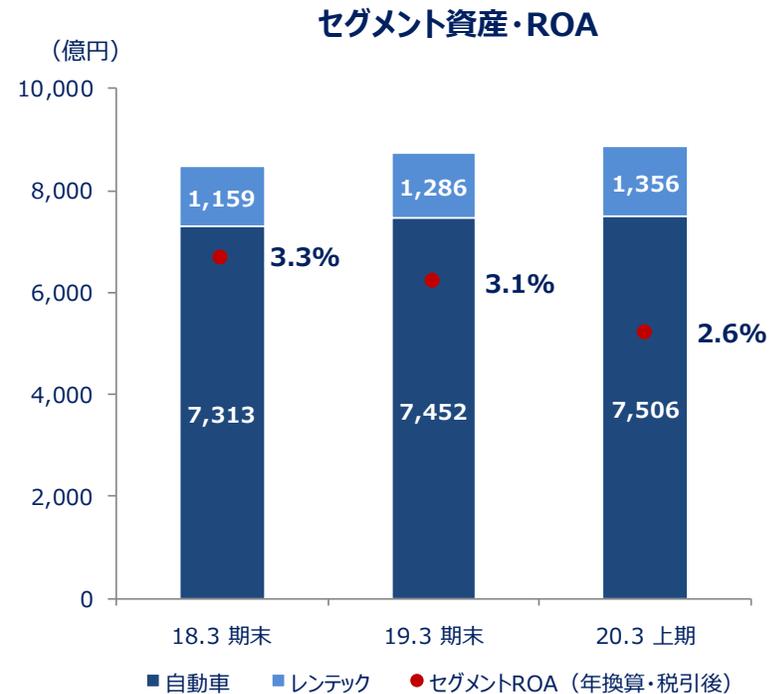
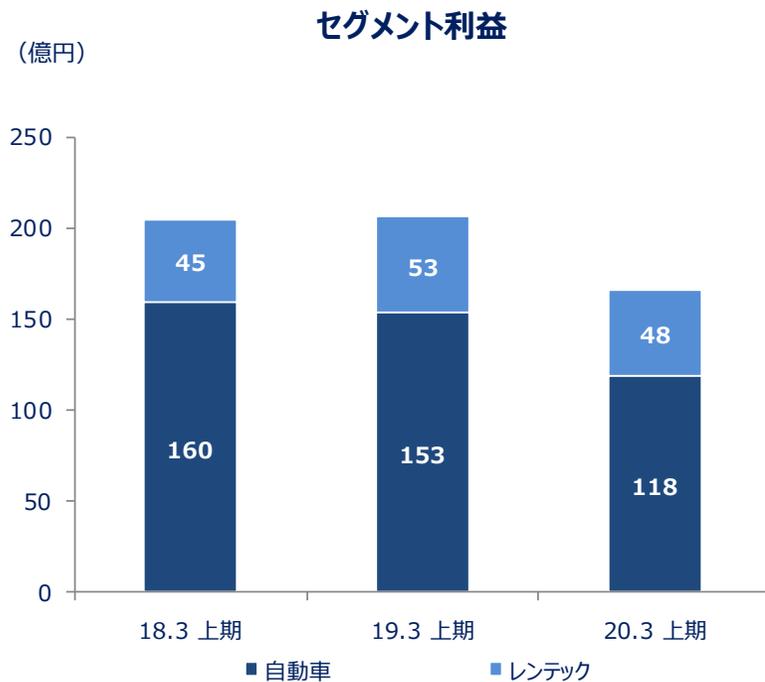
**セグメント利益：166億円** 前年同期比 ▲40億円（▲19%）

✓ 自動車・レンタックともに増収。サービス向上に向けた販管費の増加等により減益

【会計基準変更による影響：IDC（初期直接費用）▲13億円】

**セグメント資産：8,863億円** 前期末比 +125億円（+1%）

✓ 前期末比横ばい



## 事業の近況

- ✓ レンタカー事業と連携しカーシェアリング事業を全国へ拡大。鉄道会社などと提携しMaaS（Mobility as a Service）を推進
- ✓ 買収した淀川変圧器（受変電・発電設備レンタル会社）の事業拡大や、協働ロボット・ドローンなどレンタル商品のラインアップを拡大

## セグメント別業績（２）メンテナンスリース

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	117	125	134	142	144	71	77	108%
オペレーティング・リース収益	1,857	1,889	1,873	1,897	1,980	980	1,020	104%
サービス収入	625	668	663	678	706	341	343	100%
<b>セグメント収益</b>	<b>2,641</b>	<b>2,721</b>	<b>2,710</b>	<b>2,759</b>	<b>2,882</b>	<b>1,416</b>	<b>1,472</b>	<b>104%</b>
支払利息	42	40	37	32	30	16	14	89%
オペレーティング・リース原価	1,382	1,415	1,433	1,454	1,544	761	805	106%
サービス費用	385	397	392	401	406	194	202	104%
販管費および一般管理費	388	410	429	441	465	228	257	113%
<b>セグメント費用</b>	<b>2,236</b>	<b>2,292</b>	<b>2,311</b>	<b>2,356</b>	<b>2,505</b>	<b>1,210</b>	<b>1,306</b>	<b>108%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>404</b>	<b>429</b>	<b>398</b>	<b>402</b>	<b>388</b>	<b>206</b>	<b>166</b>	<b>81%</b>
リース純投資	2,571	2,855	3,089	3,199	3,284	3,247	3,249	
オペレーティング・リース投資	4,886	4,924	4,926	5,055	5,254	5,128	5,421	
<b>セグメント資産</b>	<b>7,507</b>	<b>7,830</b>	<b>8,067</b>	<b>8,472</b>	<b>8,738</b>	<b>8,590</b>	<b>8,863</b>	
<b>ROA</b>	<b>3.58%</b>	<b>3.72%</b>	<b>3.42%</b>	<b>3.32%</b>	<b>3.09%</b>	<b>3.31%</b>	<b>2.59%</b>	

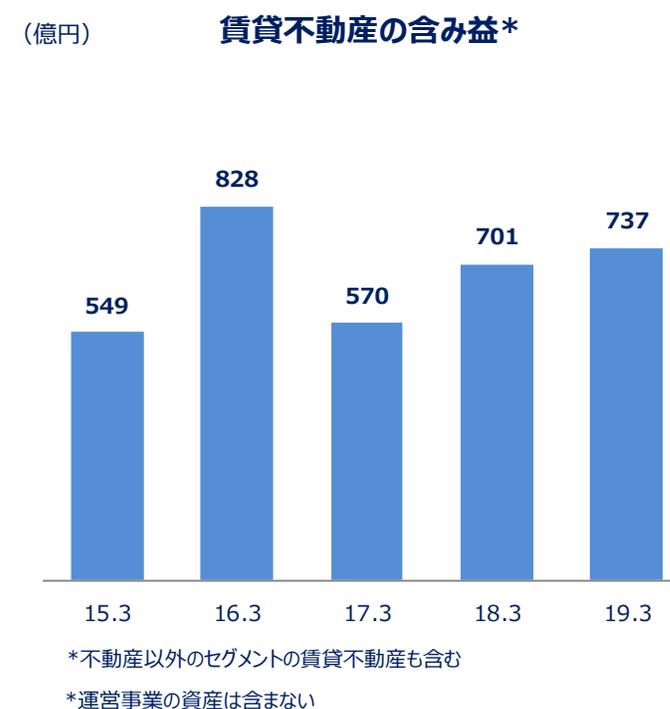
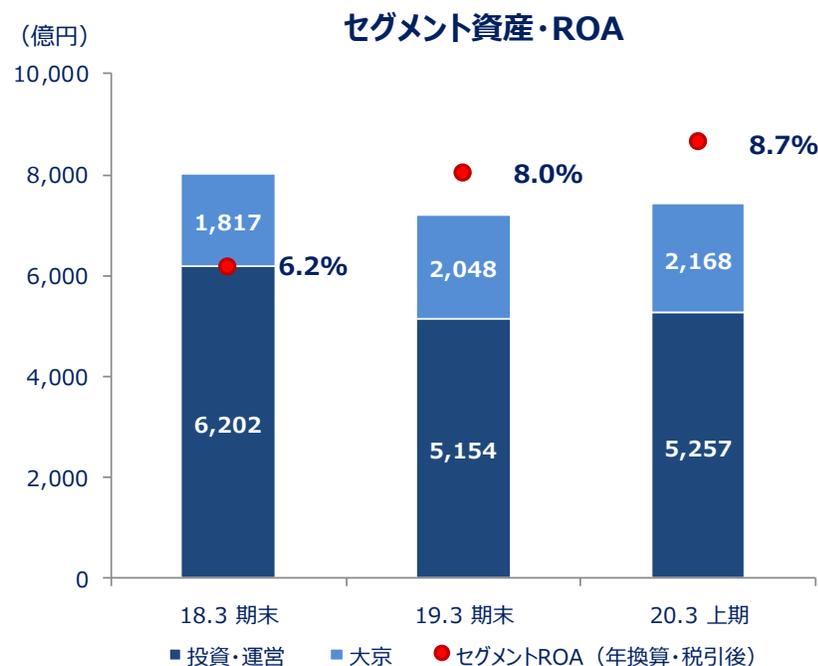
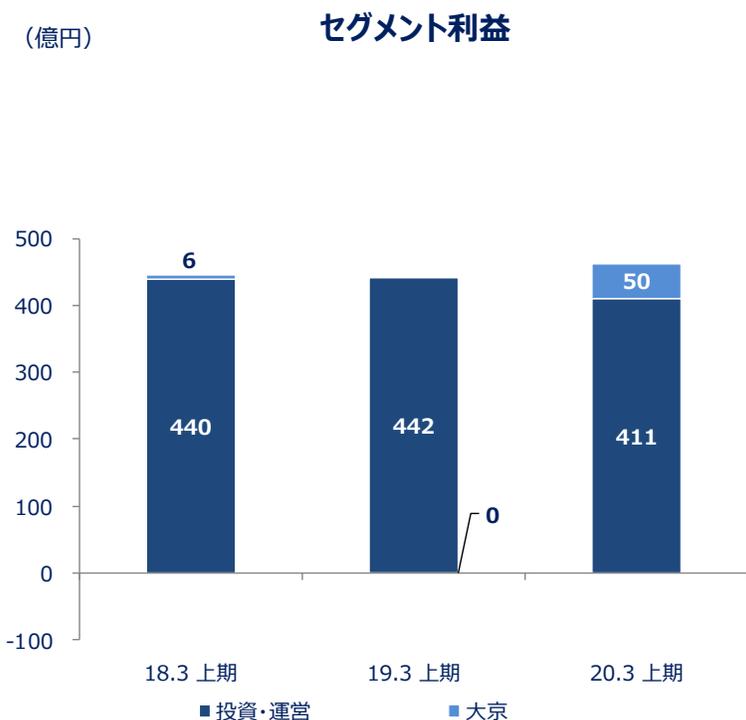
# セグメント別業績（3）不動産

**セグメント利益：462億円** 前年同期比 +20億円（+5%）

- ✓ オリックス・リビングなどの売却益を計上
- ✓ 不動産アセットマネジメントからの利益は安定的に推移

**セグメント資産：7,424億円** 前期末比 +222億円（+3%）

- ✓ 売却により資産は減少するものの、新規投資も継続
- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リース資産が増加（+893億円）



## 事業の近況

- ✓ 「別府温泉 杉乃井ホテル」リニューアル着工(2025年完了予定)、大阪うめきた2期(2024年概成)などの大規模プロジェクトを推進
- ✓ 2019年に完全子会社化した大京との一体経営に向け、「開発」「流通」「管理・工事」の各機能におけるリソース・ノウハウ共有を進める

# セグメント別業績（3）不動産

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	42	69	24	21	21	10	14	141%
オペレーティング・リース収益	714	679	960	552	725	414	363	88%
うち賃貸不動産売却益	155	168	506	143	350	215	184	85%
商品および不動産売上高	1,046	1,348	1,220	1,318	1,415	460	475	103%
サービス収入	2,796	2,876	2,920	3,001	3,131	1,552	1,441	93%
<b>セグメント収益</b>	<b>4,606</b>	<b>4,987</b>	<b>5,128</b>	<b>4,898</b>	<b>5,291</b>	<b>2,440</b>	<b>2,292</b>	<b>94%</b>
支払利息	75	52	32	23	22	12	7	61%
オペレーティング・リース原価	385	345	303	276	260	132	128	97%
商品および不動産売上原価	983	1,131	1,009	1,122	1,214	414	440	106%
サービス費用	2,337	2,427	2,465	2,544	2,611	1,240	1,206	97%
販管費および一般管理費	438	458	439	432	440	222	225	101%
<b>セグメント費用</b>	<b>4,617</b>	<b>4,505</b>	<b>4,290</b>	<b>4,440</b>	<b>4,570</b>	<b>2,021</b>	<b>2,013</b>	<b>100%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>98</b>	<b>523</b>	<b>845</b>	<b>744</b>	<b>892</b>	<b>442</b>	<b>462</b>	<b>105%</b>

オペレーティング・リース投資	4,365	3,920	3,183	2,730	2,420	2,380	2,786
事業用資産	1,722	1,775	1,850	1,955	1,461	2,006	1,294
賃貸資産前渡金	447	385	198	216	299	263	330
関連会社投資	1,067	1,075	1,106	1,002	1,071	1,067	989
<b>セグメント資産</b>	<b>10,549</b>	<b>9,177</b>	<b>8,439</b>	<b>8,020</b>	<b>7,202</b>	<b>7,832</b>	<b>7,424</b>
<b>ROA</b>	<b>0.57%</b>	<b>3.52%</b>	<b>6.55%</b>	<b>6.17%</b>	<b>8.03%</b>	<b>7.63%</b>	<b>8.65%</b>

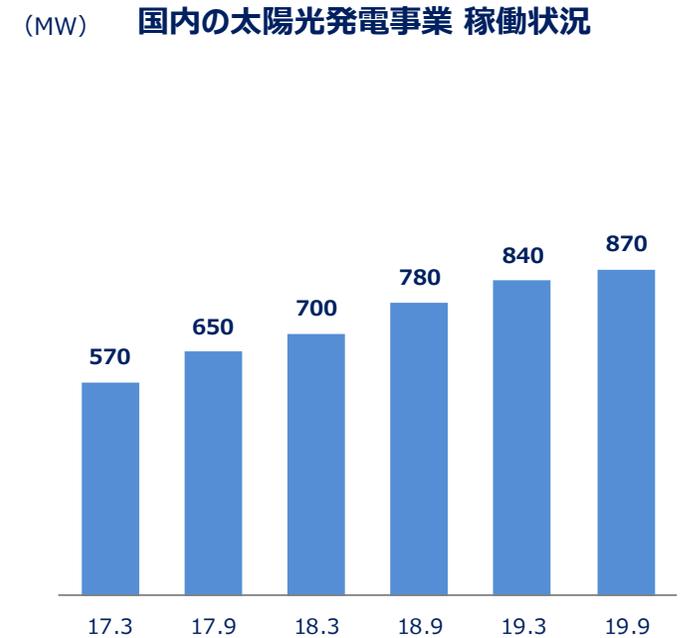
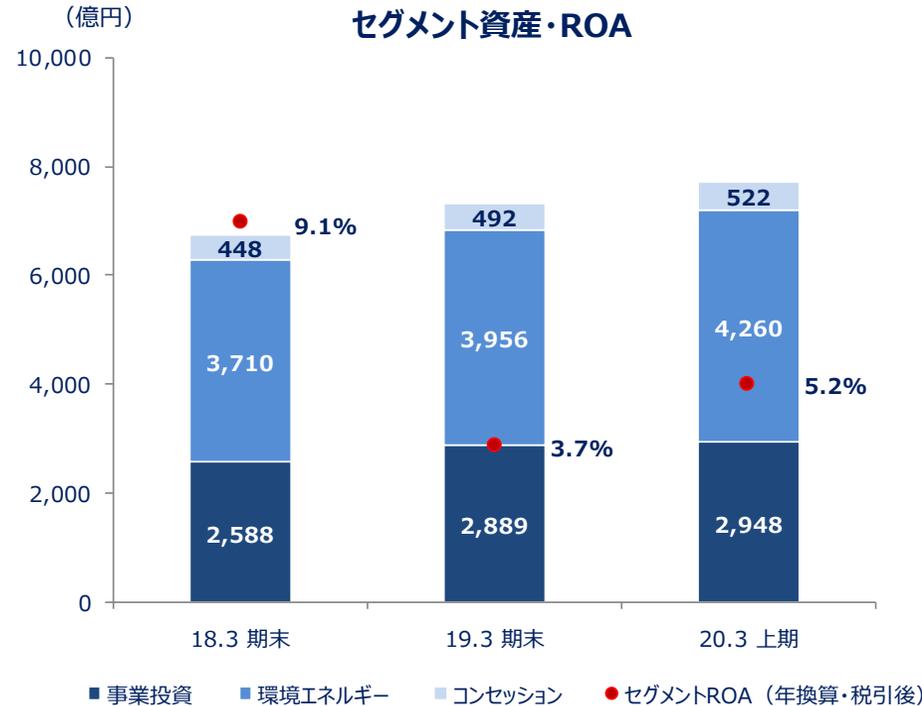
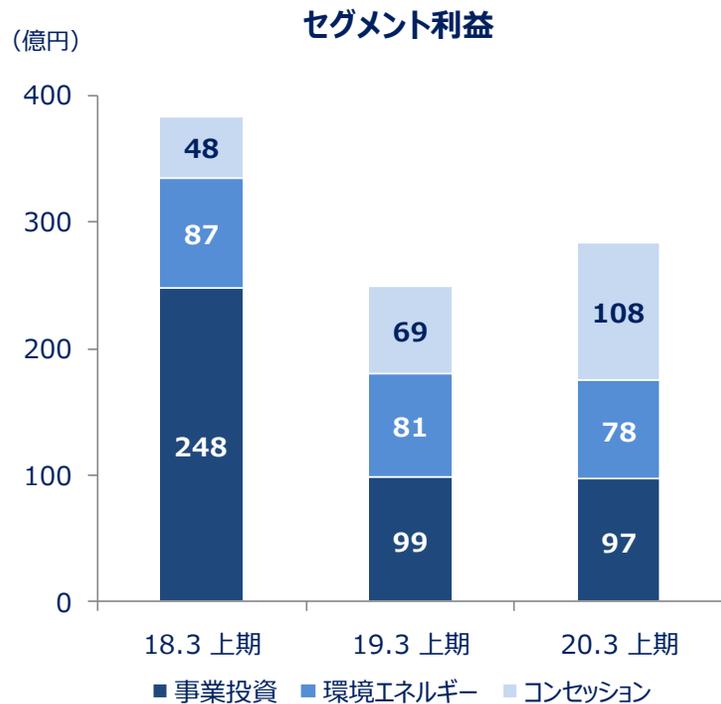
# セグメント別業績（４）事業投資

**セグメント利益：284億円** 前年同期比 +35億円（+14%）

**セグメント資産：7,730億円** 前期末比 +394億円（+5%）

- ✓ PE投資は第1四半期に売却益を計上
- ✓ コンセッションは訪日観光客増加により増益

- ✓ 物流機器専門の販売・レンタル大手「ワコーパレット」へ出資
- ✓ 新リース会計基準により環境エネルギー関連の事業資産が増加（+398億円）



## 事業の近況

- ✓ 国内の太陽光発電事業は順調に稼働（19.9末時点で1GW確保）、地熱発電事業（南茅部）に着手し、風力発電も推進中
- ✓ PE投資は過去5年で1,000億円以上の投資利益を創出、長期的な戦略投資も視野にいれ投資先を発掘する

# セグメント別業績（４）事業投資

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	160	129	110	93	91	52	33	64%
有価証券売却・評価損益および受取配当金	93	102	129	76	1	6	7	124%
商品および不動産売上高	2,765	5,967	8,250	9,242	4,360	2,770	1,261	46%
サービス収入	862	1,000	1,188	1,401	1,691	845	943	112%
<b>セグメント収益</b>	<b>3,897</b>	<b>7,214</b>	<b>9,700</b>	<b>10,835</b>	<b>6,152</b>	<b>3,677</b>	<b>2,251</b>	<b>61%</b>
支払利息	33	32	49	57	71	34	38	113%
商品および不動産売上原価	2,489	5,594	7,794	8,755	4,006	2,588	1,083	42%
サービス費用	748	830	916	1,106	1,317	642	716	112%
販管費および一般管理費	298	417	550	555	519	248	257	104%
<b>セグメント費用</b>	<b>3,589</b>	<b>6,876</b>	<b>9,371</b>	<b>10,473</b>	<b>5,917</b>	<b>3,511</b>	<b>2,094</b>	<b>60%</b>
持分法投資損益等	71	141	405	479	147	83	127	153%
<b>セグメント利益</b>	<b>378</b>	<b>479</b>	<b>734</b>	<b>841</b>	<b>382</b>	<b>249</b>	<b>284</b>	<b>114%</b>
営業貸付金	1,039	941	715	594	476	529	421	
投資有価証券	841	666	464	286	258	300	239	
事業用資産	909	1,306	1,877	2,081	2,650	2,191	3,002	
棚卸資産	308	211	248	243	308	267	330	
関連会社投資	356	918	603	1,569	1,620	1,551	1,625	
営業権、企業結合で取得した無形資産	563	686	1,165	1,227	1,587	1,206	1,594	
<b>セグメント資産</b>	<b>4,584</b>	<b>5,404</b>	<b>5,938</b>	<b>6,746</b>	<b>7,336</b>	<b>6,873</b>	<b>7,730</b>	
<b>ROA</b>	<b>5.77%</b>	<b>6.37%</b>	<b>8.84%</b>	<b>9.06%</b>	<b>3.71%</b>	<b>5.01%</b>	<b>5.16%</b>	

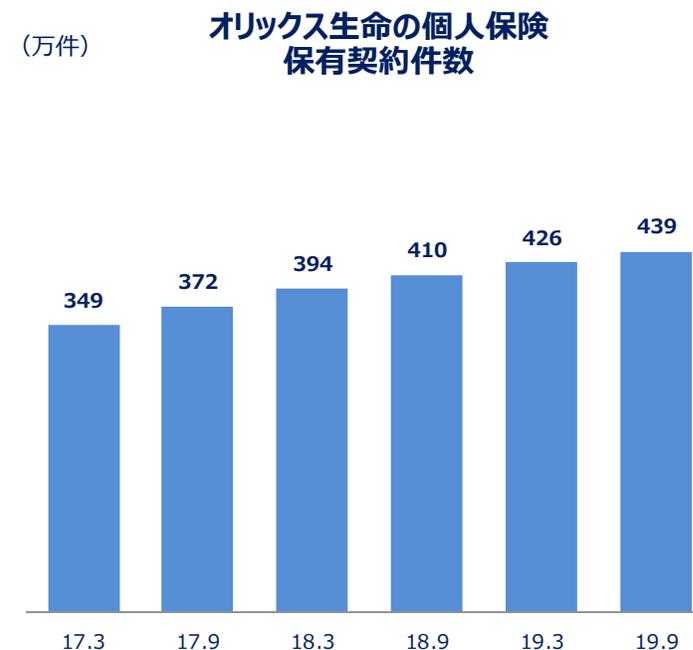
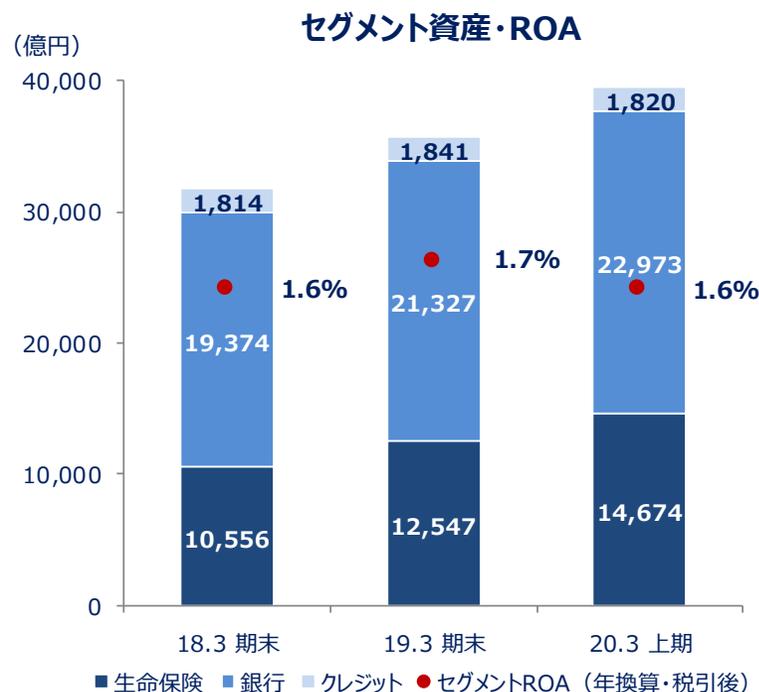
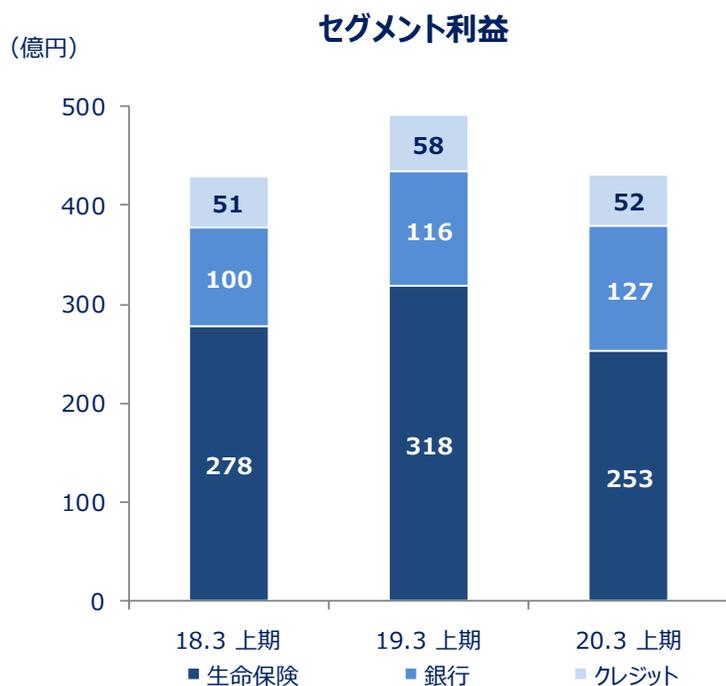
# セグメント別業績（5）リテール

**セグメント利益：432億円** 前年同期比 ▲60億円（▲12%）

✓ 生命保険は契約の増加に伴い保険料収入が伸長。前期売却益の反動や販管費の増加により減益

**セグメント資産：39,467億円** 前期末比 +3,753億円（+11%）

✓ 生命保険の投資有価証券、銀行の営業貸付金が増加



## 事業の近況

- ✓ 生命保険は、「外貨建終身保険」や「引受基準緩和型保険」など商品ラインアップを拡充
- ✓ 銀行は高い預貸率を維持、資金粗利ざやも2%水準で推移

# セグメント別業績（5）リテール

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	568	610	681	729	767	387	401	104%
生命保険料収入および運用益	3,525	1,908	2,979	3,530	3,483	1,813	1,832	101%
<b>セグメント収益</b>	<b>4,261</b>	<b>2,544</b>	<b>3,687</b>	<b>4,287</b>	<b>4,289</b>	<b>2,217</b>	<b>2,256</b>	<b>102%</b>
支払利息	58	47	41	40	41	20	21	103%
生命保険費用	2,720	1,220	2,014	2,563	2,478	1,264	1,319	104%
販管費および一般管理費	605	675	770	792	787	372	387	104%
貸引繰入、長期性評価損、有価証券評価損	40	74	101	112	115	53	67	126%
<b>セグメント費用</b>	<b>3,422</b>	<b>2,034</b>	<b>2,958</b>	<b>3,542</b>	<b>3,447</b>	<b>1,726</b>	<b>1,824</b>	<b>106%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>1,206</b>	<b>518</b>	<b>729</b>	<b>745</b>	<b>842</b>	<b>492</b>	<b>432</b>	<b>88%</b>
営業貸付金	14,117	15,231	17,270	18,528	20,500	19,104	22,200	
投資有価証券	22,286	18,763	15,027	12,603	14,748	14,009	16,805	
<b>セグメント資産</b>	<b>37,172</b>	<b>34,721</b>	<b>32,934</b>	<b>31,745</b>	<b>35,714</b>	<b>33,690</b>	<b>39,467</b>	
<b>ROA</b>	<b>2.62%</b>	<b>0.96%</b>	<b>1.47%</b>	<b>1.57%</b>	<b>1.71%</b>	<b>2.06%</b>	<b>1.57%</b>	

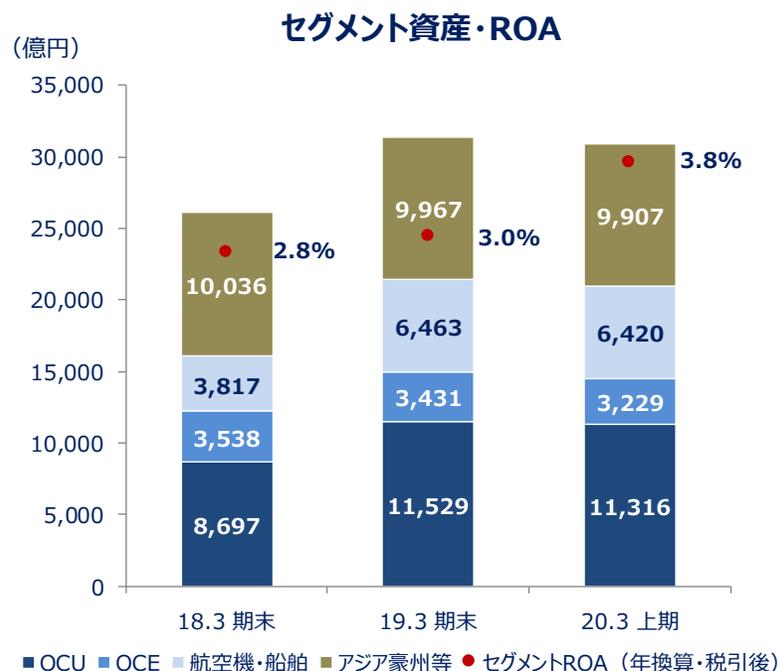
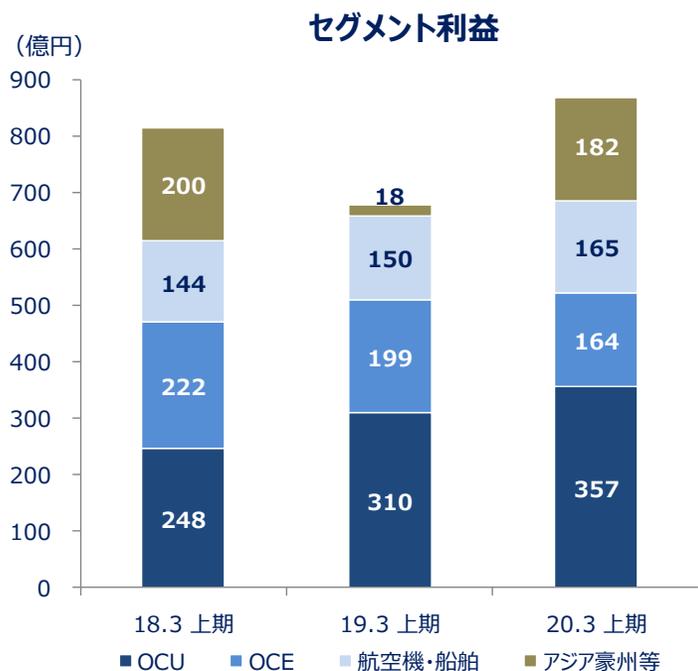
# セグメント別業績（6）海外

**セグメント利益：869億円** 前年同期比 +191億円（+28%）

**セグメント資産：30,873億円** 前期末比 ▲516億円（▲2%）

- ✓ 19.3期の新規投資が利益に貢献、第1四半期にアジアで売却益計上
- ✓ 為替影響▲20億円

- ✓ 為替影響▲1,168億円を除くと、前期末比+651億円



**新規投資による利益貢献**

19.3期 大型投資案件	20.3期 上期 セグメント利益
NXT Capital (ローン組成・資産運用)	54億円
Avolon (航空機リース)	57億円

**事業の近況**

- ✓ 引き続き欧米におけるローン・アセットマネジメント事業の多面的な展開を図る
- ✓ Avolonとのシナジーを追求し、航空機リース事業のスケールアップとプレゼンスのさらなる向上を図る

# セグメント別業績（6）海外

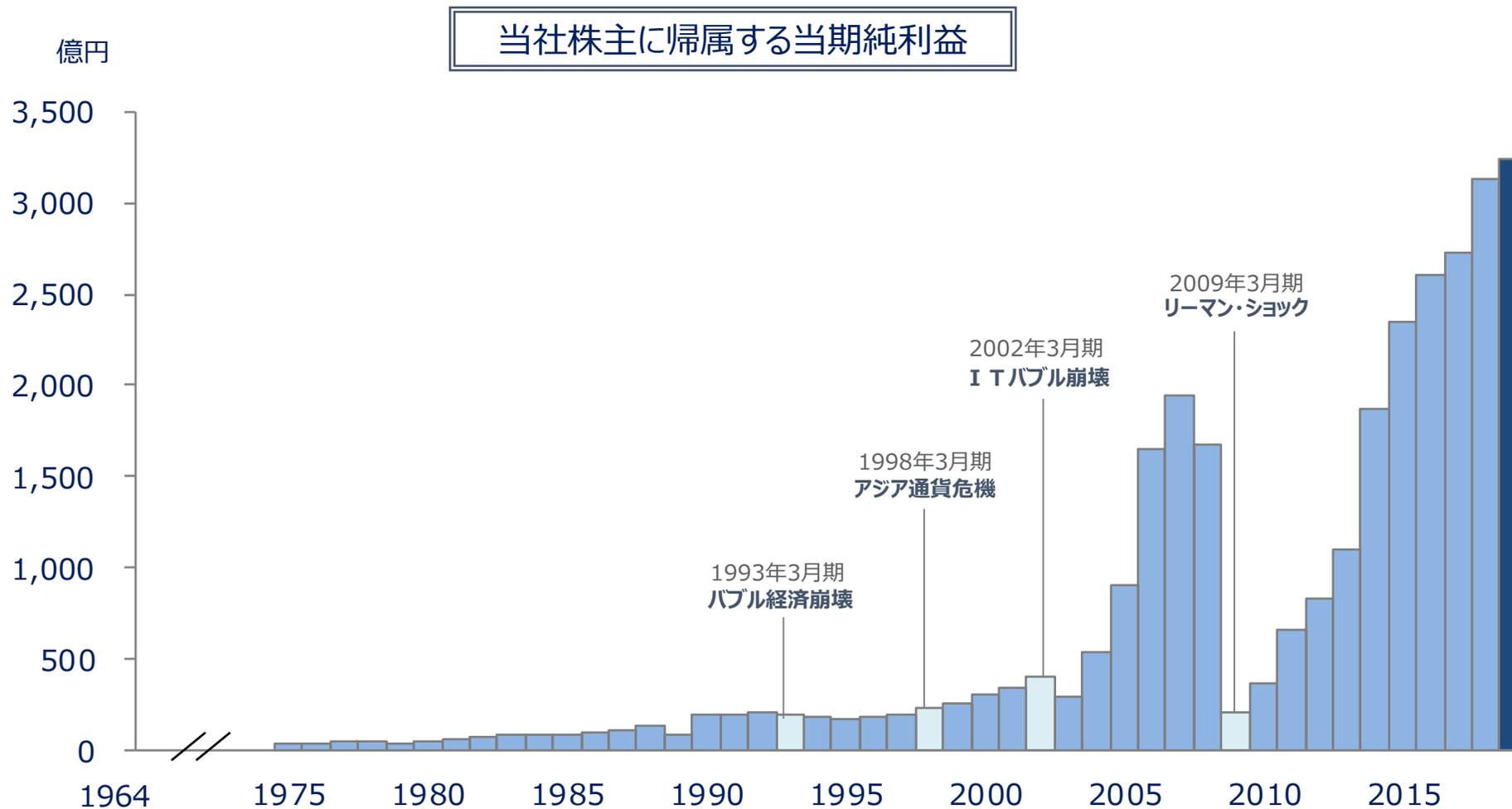
(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	673	794	851	984	1,116	495	617	125%
有価証券売却・評価損益および受取配当金	298	161	133	175	166	94	189	201%
オペレーティング・リース収益	821	920	884	1,116	1,219	592	544	92%
サービス収入	3,215	2,501	2,167	2,386	2,331	1,184	1,056	89%
<b>セグメント収益</b>	<b>5,652</b>	<b>5,304</b>	<b>4,627</b>	<b>4,796</b>	<b>4,907</b>	<b>2,388</b>	<b>2,444</b>	<b>102%</b>
支払利息	340	377	403	515	628	267	349	130%
オペレーティング・リース原価	497	560	549	644	625	308	316	102%
サービス費用	762	760	656	704	665	350	285	82%
販管費および一般管理費	2,163	1,978	1,693	1,779	1,837	869	880	101%
<b>セグメント費用</b>	<b>4,648</b>	<b>4,509</b>	<b>3,905</b>	<b>3,829</b>	<b>3,951</b>	<b>1,851</b>	<b>1,892</b>	<b>102%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>1,058</b>	<b>1,485</b>	<b>1,124</b>	<b>1,066</b>	<b>1,254</b>	<b>677</b>	<b>869</b>	<b>128%</b>

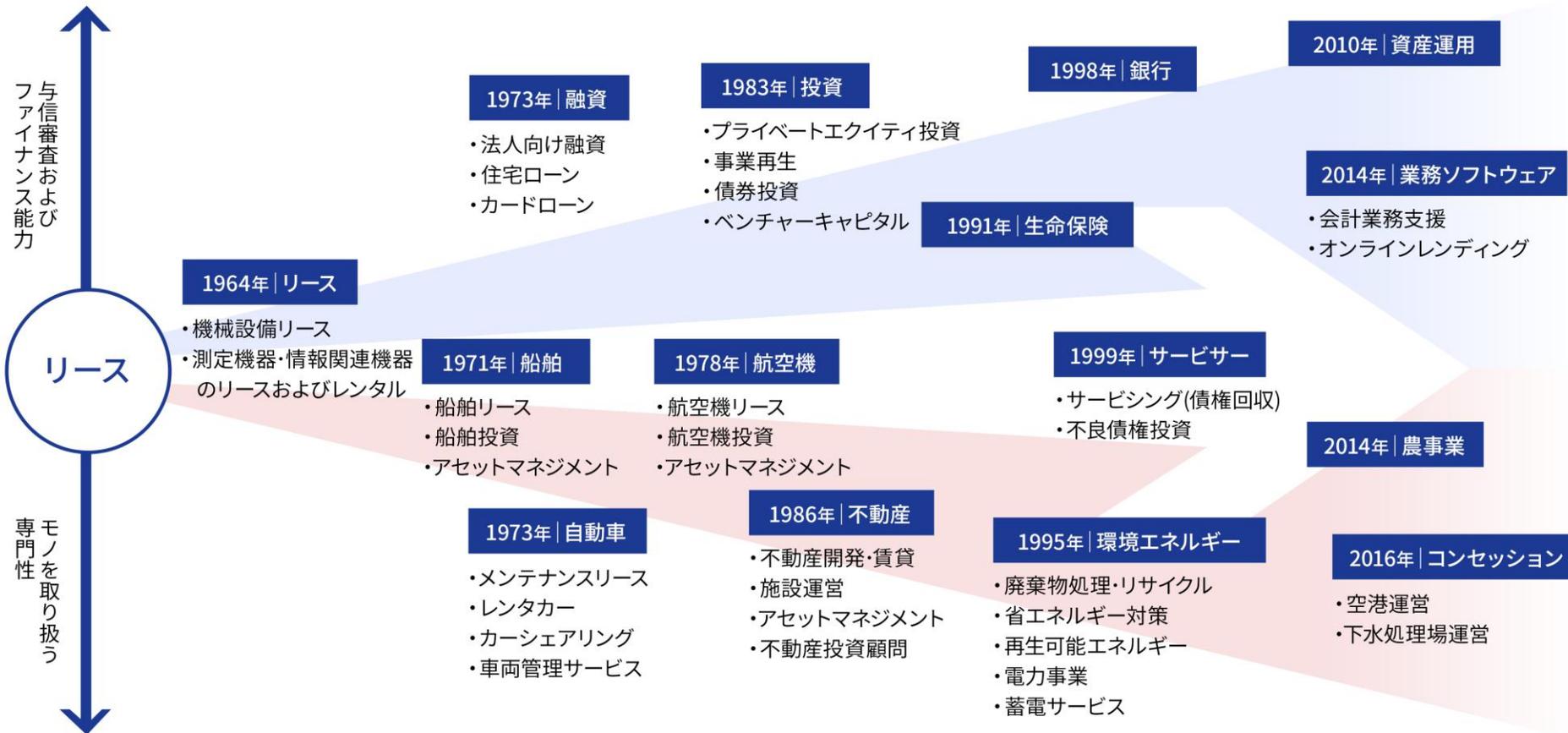
リース純投資	3,866	3,510	3,577	3,687	3,624	3,729	3,483
営業貸付金	4,670	5,507	6,135	5,346	8,148	7,624	8,458
オペレーティング・リース投資	2,792	3,762	4,206	4,911	5,091	5,608	5,050
投資有価証券	3,821	3,542	4,333	4,134	3,853	3,996	3,746
関連会社投資	2,090	3,057	3,322	3,146	5,567	3,117	5,274
営業権、企業結合で取得した無形資産	4,890	3,947	3,802	4,270	4,523	4,804	4,321
<b>セグメント資産</b>	<b>22,801</b>	<b>23,993</b>	<b>25,781</b>	<b>26,088</b>	<b>31,389</b>	<b>29,557</b>	<b>30,873</b>
<b>ROA</b>	<b>3.13%</b>	<b>4.22%</b>	<b>3.08%</b>	<b>2.81%</b>	<b>2.99%</b>	<b>3.33%</b>	<b>3.82%</b>

# 補足資料

- ✓ 設立初年度を除き、54年間毎期黒字を計上



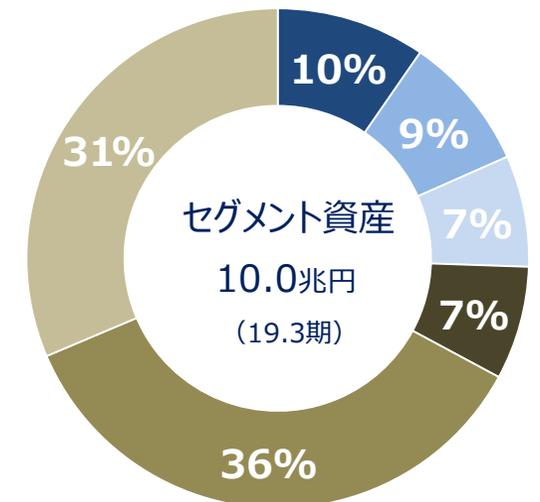
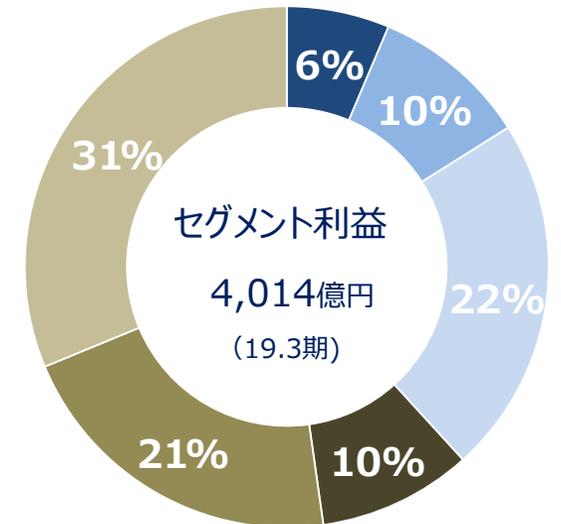
✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開



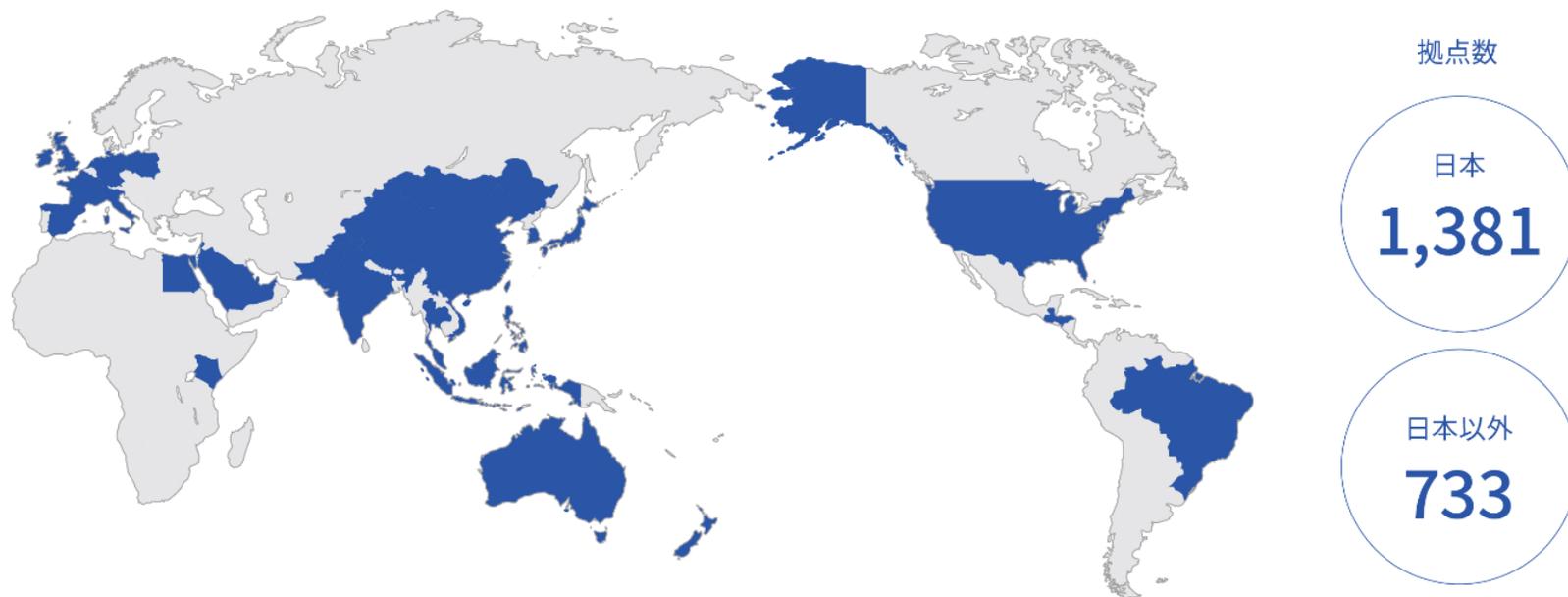
# オリックスについて セグメント別の利益・資産の構成

✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

法人金融サービス	金融、各種手数料ビジネス
メンテナンスリース	自動車リース・レンタカー・カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース
不動産	不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産の資産運用
事業投資	環境エネルギー、企業投資、コンセッション
リテール	生命保険、銀行、カードローン
海外	アセットマネジメント、航空機・船舶関連、企業投資、金融



✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界37ヶ国・地域で事業を展開



(2019年 9月末日時点)

1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
グローバルネットワークの国数				
7カ国	12カ国	18カ国	26カ国	37カ国
アジアでのリースを中心としたグローバルネットワークの拡大		グローバルネットワークの拡大継続 航空機関連やエクイティ投資への事業が多角化		ロベコ買収や、環境エネルギー事業の展開を通じてさらに事業分野が拡大

# 補足資料（1）業績推移総括

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
営業収益	21,743	23,692	26,787	28,628	24,349	12,620	11,127	88%
当期純利益 ※1	2,349	2,602	2,732	3,131	3,237	1,551	1,592	103%
セグメント資産	94,648	92,463	92,019	90,989	99,977	96,205	104,327	108%
総資産	114,399	109,929	112,319	114,260	121,749	117,785	125,111	106%
株主資本	21,522	23,104	25,077	26,824	28,971	28,040	29,621	106%
株主資本比率	18.8%	21.0%	22.3%	23.5%	23.8%	23.8%	23.7%	-0.1%
ROE	11.5%	11.7%	11.3%	12.1%	11.6%	11.3%	10.9%	-0.4%
セグメント資産ROA	2.77%	2.78%	2.96%	3.42%	3.39%	3.31%	3.12%	-0.19%
D/E比率								
長短借入債務および預金/株主資本	2.7倍	2.5倍	2.3倍	2.2倍	2.2倍	2.2倍	2.2倍	0.0倍
長短借入債務/株主資本	2.1倍	1.9倍	1.7倍	1.5倍	1.6倍	1.5倍	1.5倍	0.0倍

※1 当社株主に帰属する当期純利益

※2 2020年3月期第1四半期より、会計基準書アップデート第2016-02号(会計基準編纂書842(リース))を適用しています。

## 補足資料（２）セグメント別利益

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
法人金融サービス	255	424	380	493	255	168	92	55%
メンテナンスリース	404	429	398	402	388	206	166	81%
不動産	98	523	845	744	892	442	462	105%
事業投資	378	479	734	841	382	249	284	114%
リテール	1,206	518	729	745	842	492	432	88%
海外	1,058	1,485	1,124	1,066	1,254	677	869	128%
<b>セグメント利益合計</b>	<b>3,398</b>	<b>3,857</b>	<b>4,209</b>	<b>4,291</b>	<b>4,014</b>	<b>2,233</b>	<b>2,304</b>	<b>103%</b>

※ 2019年3月期第4四半期より、株式会社大京は、事業投資事業から不動産事業にセグメント区分を変更し、セグメント情報を過年度に遡って組替再表示しています。

## 補足資料（3）セグメント別資産

(単位：億円)

	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 上期	20.3期 上期	前期末比
法人金融サービス	12,034	11,339	10,860	9,918	9,597	9,664	9,970	104%
メンテナンスリース	7,507	7,830	8,067	8,472	8,738	8,590	8,863	101%
不動産	10,549	9,177	8,439	8,020	7,202	7,832	7,424	103%
事業投資	4,584	5,404	5,938	6,746	7,336	6,873	7,730	105%
リテール	37,172	34,721	32,934	31,745	35,714	33,690	39,467	111%
海外	22,801	23,993	25,781	26,088	31,389	29,557	30,873	98%
<b>セグメント資産合計</b>	<b>94,648</b>	<b>92,463</b>	<b>92,019</b>	<b>90,989</b>	<b>99,977</b>	<b>96,205</b>	<b>104,327</b>	<b>104%</b>

※ 2019年3月期第4四半期より、株式会社大京は、事業投資事業から不動産事業にセグメント区分を変更し、セグメント情報を過年度に遡って組替再表示しています。

# 補足資料（４） 損益の状況

(単位：億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
金融収益	1,928	2,082	2,119	2,283	2,429	1,174	1,261	107%
有価証券売却益および受取配当金	564	358	303	433	160	117	204	174%
オペレーティング・リース収益	1,249	1,288	1,551	1,273	1,566	816	715	88%
生命保険料収入および運用益	795	681	958	965	1,006	549	515	94%
商品および不動産売上高	488	858	865	755	609	254	245	96%
サービス収入	3,340	2,825	2,754	2,981	3,105	1,650	1,491	90%
<b>営業粗利益 ※1</b>	<b>8,365</b>	<b>8,092</b>	<b>8,549</b>	<b>8,691</b>	<b>8,874</b>	<b>4,560</b>	<b>4,430</b>	<b>97%</b>
支払利息	726	728	729	768	933	418	502	120%
販売費および一般管理費	4,278	4,227	4,187	4,316	4,370	2,106	2,212	105%
貸引・減損	555	297	384	240	263	89	106	119%
その他の損益（純額）	237	-37	-44	4	13	-5	-8	154%
<b>営業利益</b>	<b>2,568</b>	<b>2,877</b>	<b>3,292</b>	<b>3,362</b>	<b>3,294</b>	<b>1,951</b>	<b>1,617</b>	<b>83%</b>
持分法投資損益	305	457	265	501	330	68	326	478%
子会社・関連会社株式売却損益等	567	579	692	492	333	190	343	180%
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,440</b>	<b>3,913</b>	<b>4,250</b>	<b>4,355</b>	<b>3,957</b>	<b>2,209</b>	<b>2,286</b>	<b>103%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>2,349</b>	<b>2,602</b>	<b>2,732</b>	<b>3,131</b>	<b>3,237</b>	<b>1,551</b>	<b>1,592</b>	<b>103%</b>

※1 営業収益に対応する原価・費用を控除したネットの金額

# 補足資料（５）財務の状況

(単位：億円)

資金調達残高	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
CP	896	1,024	501	549	411	798	158	-640
金融機関借入	28,816	29,706	29,582	30,562	32,794	29,995	32,197	2,202
社債・MTN	11,515	9,381	8,851	9,401	9,975	9,352	9,578	226
預金	12,874	13,985	16,146	17,575	19,277	18,579	20,924	2,345
ABS、CMBS	2,913	2,755	2,451	821	1,778	1,710	1,523	-187
<b>長短借入債務および預金</b>	<b>57,014</b>	<b>56,850</b>	<b>57,531</b>	<b>58,907</b>	<b>64,235</b>	<b>60,434</b>	<b>64,380</b>	<b>3,946</b>
<b>長期借入比率</b>	<b>94%</b>	<b>92%</b>	<b>93%</b>	<b>93%</b>	<b>93%</b>	<b>92%</b>	<b>94%</b>	<b>2%</b>

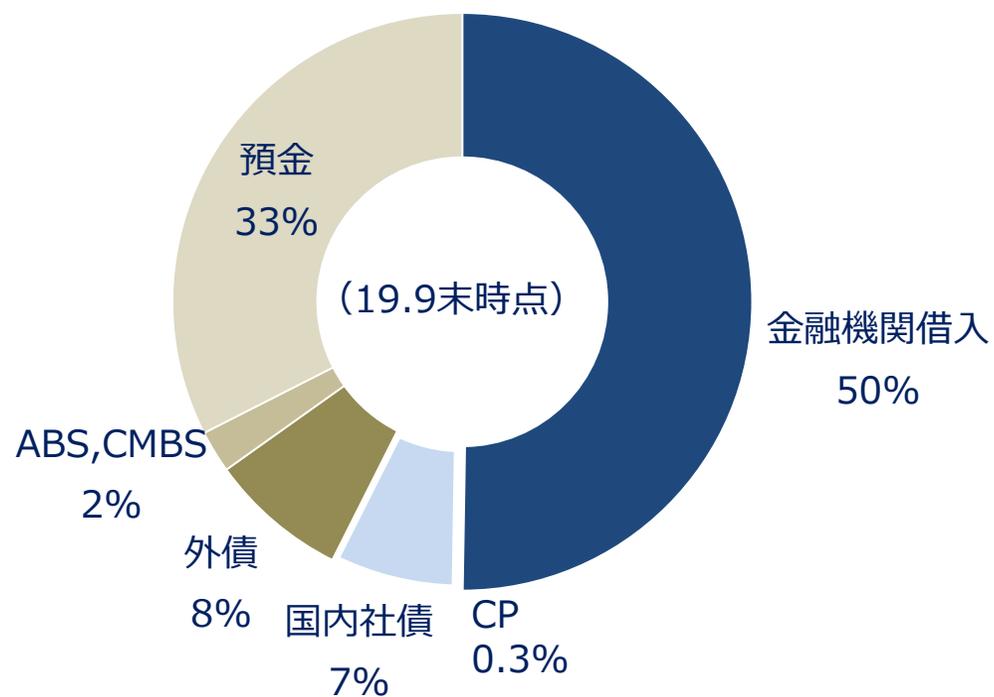
手元流動性（銀行・生命を除く）	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
現金および現金等価物（①）	7,387	5,887	5,866	6,177	5,610	5,112	5,181	69
ミット・トライン未使用額（②）	4,194	3,899	3,940	3,327	3,466	3,277	3,499	222
手元流動性（①＋②）	11,581	9,786	9,806	9,504	9,076	8,389	8,680	291
市場性短期債務（③） ※1	4,341	3,623	2,909	1,384	1,291	1,556	1,828	272
手元流動性カバー率（{(①+②)}/③）	267%	270%	337%	687%	703%	539%	475%	-64%

資金調達コスト（預金含む）	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
円貨	0.76%	0.64%	0.50%	0.42%	0.40%	0.41%	0.38%	-0.03%
外貨	2.87%	2.74%	2.80%	2.76%	3.27%	3.10%	3.33%	0.23%

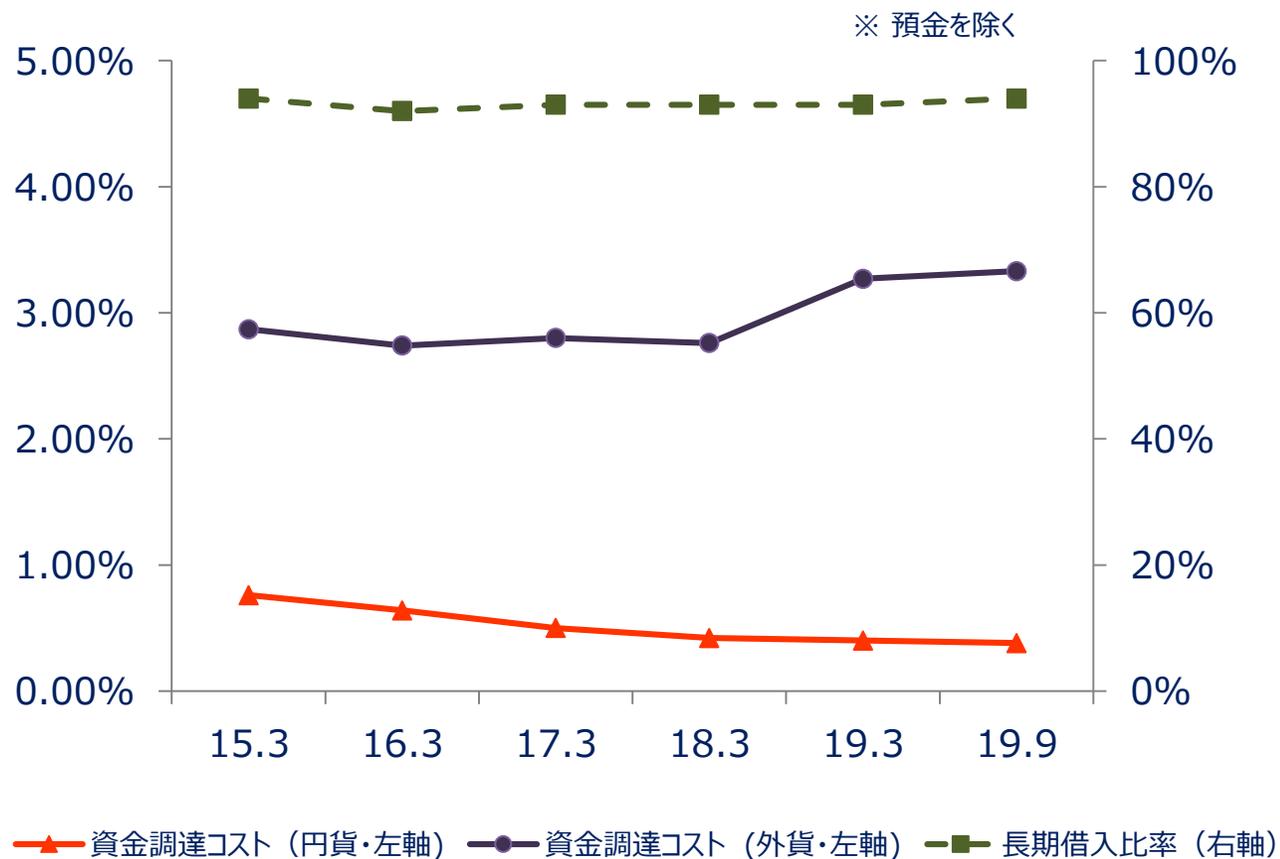
※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

✓ 多様化された資金調達。高い長期借入比率を維持しながらコストをコントロール

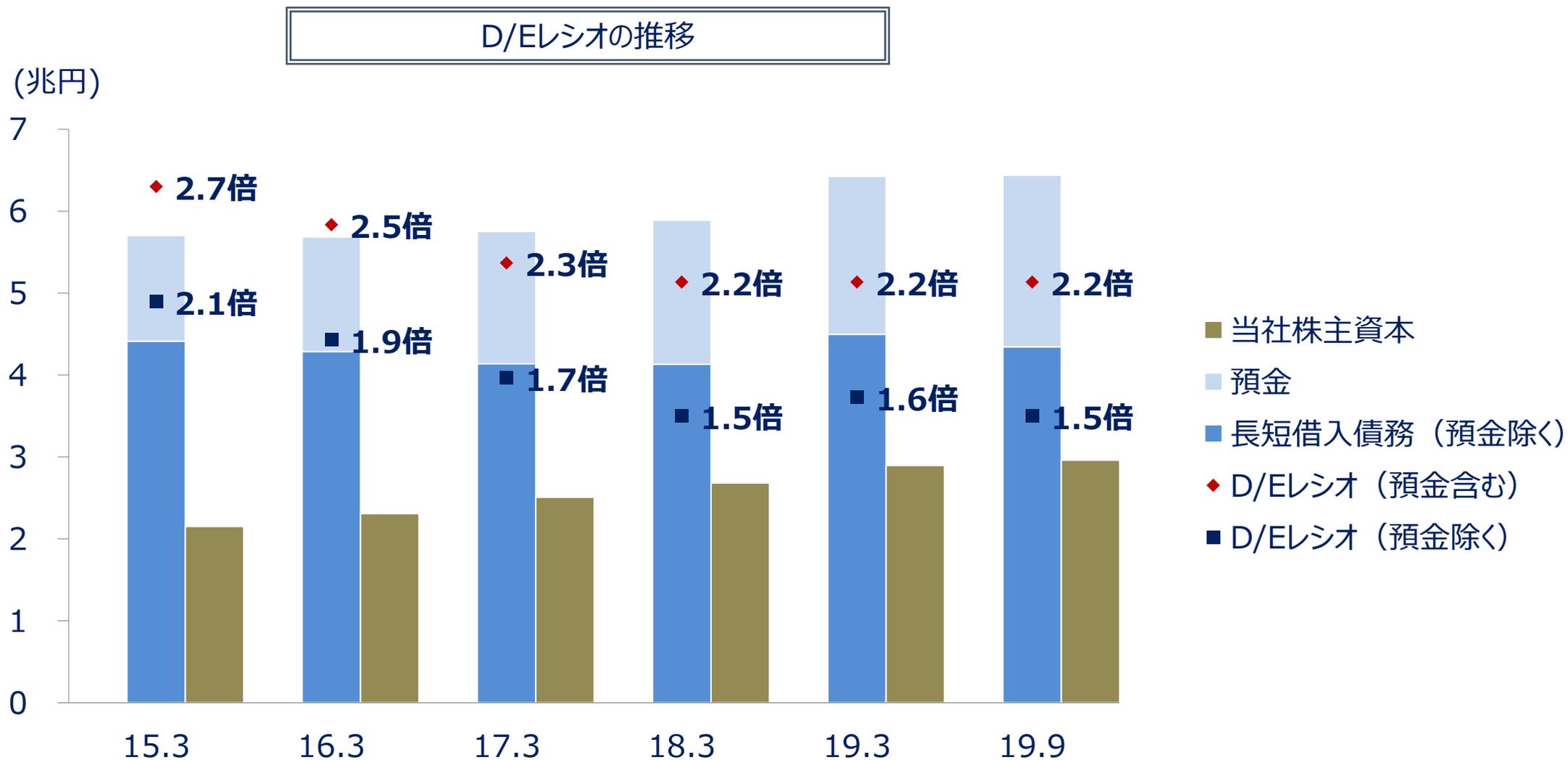
資金調達の内訳



コスト・長期借入比率<sup>(※)</sup>の推移

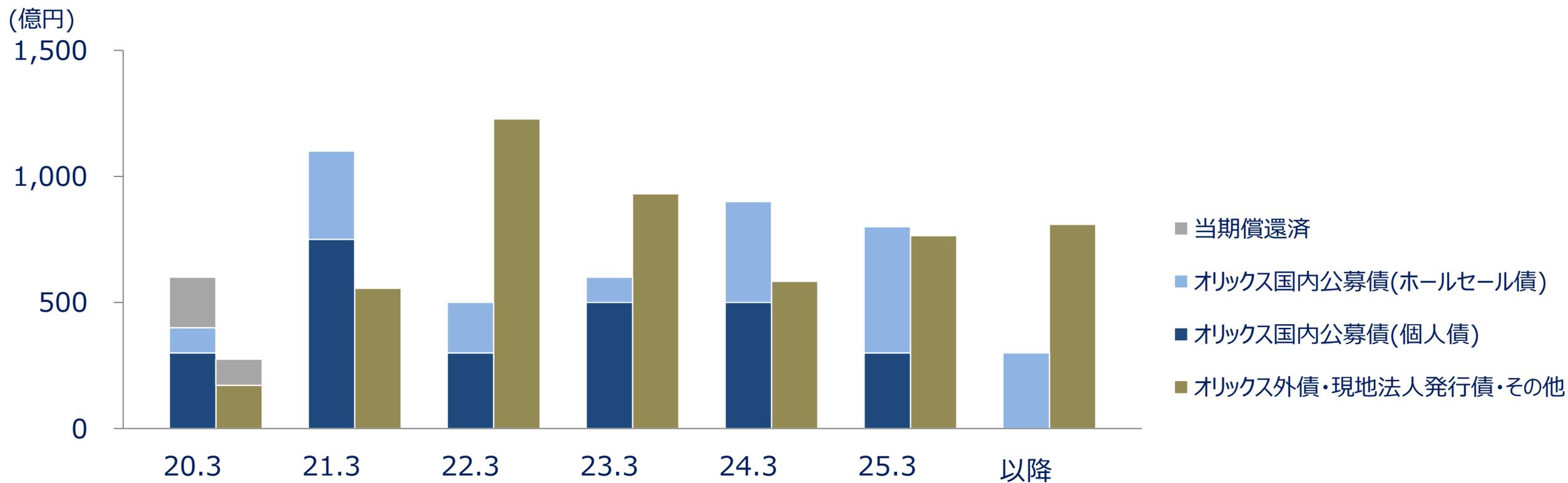


✓ D/Eレシオは低位で推移



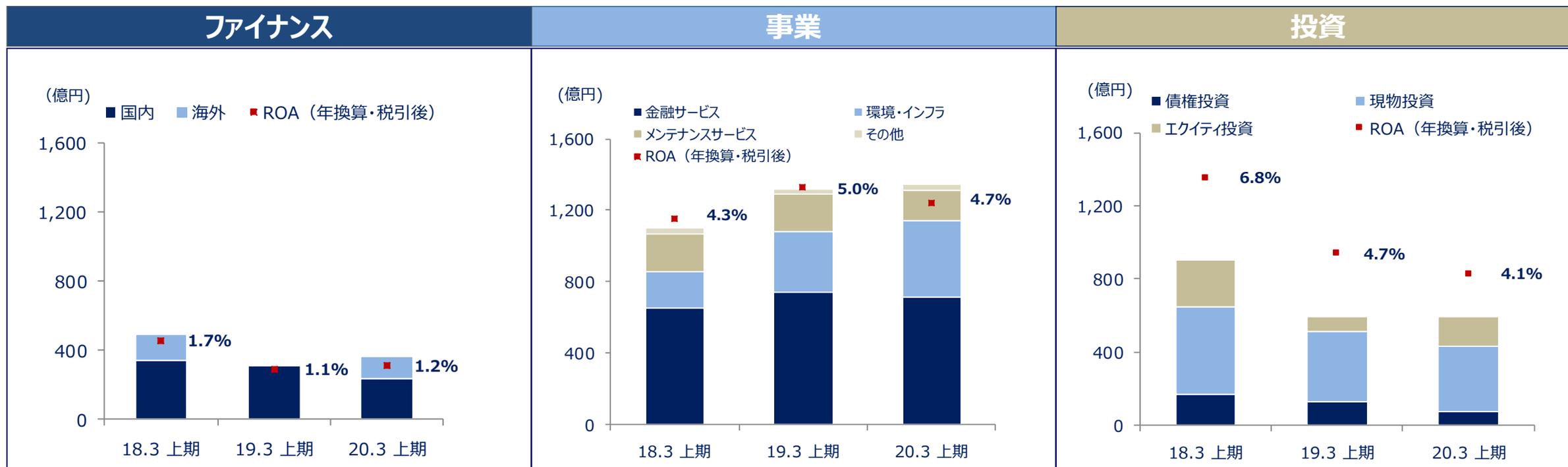
✓ 償還期日の分散を通じ、各期償還額の平準化を実現

償還スケジュール (19.9末時点)



「ファイナンス」は低金利環境下では積極的に伸ばさず現状維持、引き続き高いROAを維持する「事業」「投資」へ注力

## セグメント利益



(注) 各種調整は行っていません

# ポートフォリオの3分類 セグメント利益

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	19.3期 上期	20.3期 上期	前年同期比
ファイナンス	国内	433	504	560	734	542	314	236	75%
	海外	312	323	414	155	137	8	127	1581%
	小計	745	826	973	888	679	322	363	113%
事業	環境・インフラ	53	311	487	577	686	339	427	126%
	金融サービス	1,557	1,158	991	1,220	1,241	743	716	96%
	メンテナンスサービス	404	429	398	402	388	206	166	81%
	その他	8	54	56	64	55	29	36	122%
	小計	2,022	1,952	1,932	2,262	2,371	1,317	1,345	102%
投資	債権投資	260	236	234	251	159	130	73	56%
	現物投資	100	362	616	659	761	382	356	93%
	エクイティ投資	271	481	454	230	45	82	168	204%
	小計	632	1,080	1,304	1,140	965	594	596	100%
<b>セグメント利益合計</b>		<b>3,398</b>	<b>3,857</b>	<b>4,209</b>	<b>4,291</b>	<b>4,014</b>	<b>2,233</b>	<b>2,304</b>	<b>103%</b>

# ポートフォリオの3分類 セグメント資産

(単位：億円)

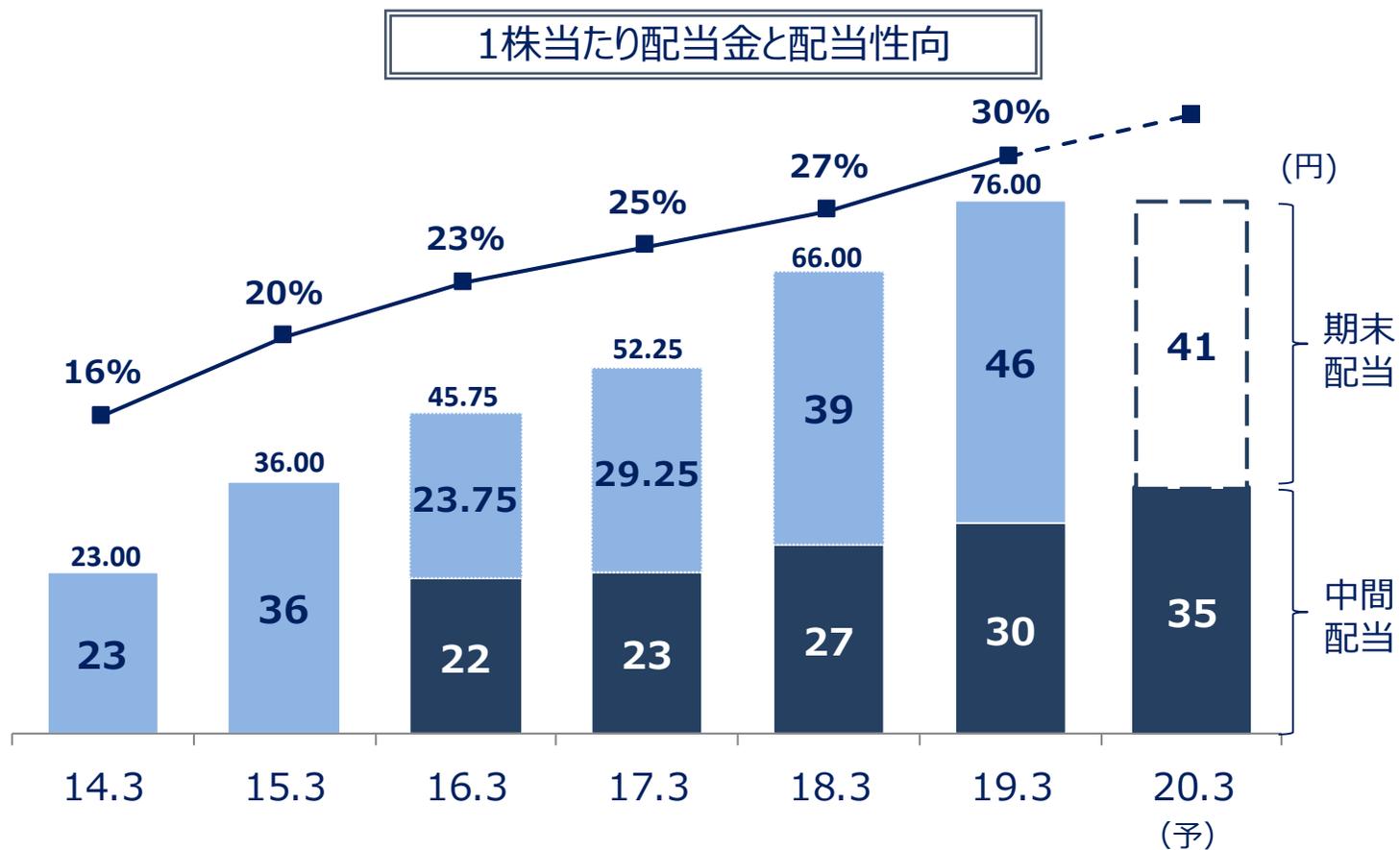
3分類	サブカテゴリー	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	19.3期 上期	20.3期 上期	前期末比
ファイナンス	国内	28,172	28,693	29,610	29,997	31,767	30,461	33,781	106%
	海外	8,018	8,683	9,013	9,774	10,256	10,322	9,973	97%
	小計	36,190	37,376	38,622	39,771	42,024	40,783	43,754	104%
事業	環境・インフラ	5,446	6,298	6,921	7,904	7,675	8,142	8,082	105%
	金融サービス	25,174	21,437	18,558	16,495	20,754	20,502	22,830	110%
	メンテナンスサービス	7,507	7,830	8,067	8,472	8,738	8,590	8,863	101%
	その他	1,055	1,046	1,027	1,007	1,011	999	982	97%
	小計	39,181	36,611	34,573	33,878	38,178	38,233	40,757	107%
投資	債権投資	5,727	5,382	5,404	4,650	4,560	4,197	4,232	93%
	現物投資	8,163	7,884	7,620	8,086	10,432	8,496	10,540	101%
	エクイティ投資	5,387	5,211	5,800	4,603	4,783	4,497	5,044	105%
	小計	19,277	18,477	18,824	17,340	19,775	17,189	19,816	100%
<b>セグメント資産合計</b>		<b>94,648</b>	<b>92,463</b>	<b>92,019</b>	<b>90,989</b>	<b>99,977</b>	<b>96,205</b>	<b>104,327</b>	<b>104%</b>

# ポートフォリオの3分類

		ファイナンス	事業	投資
分類	主なリスク	クレジットリスク	運営リスク、事業リスク	マーケットリスク
	資本負荷	低	中～高	高

		国内	海外	環境・インフラ	金融サービス	メンテナンスサービス	その他	債権投資	現物投資	エクイティ投資
セグメント	法人金融サービス	リース 貸付金 ファイナンス					弥生			新規事業
	メンテナンスリース					自動車 レンタル				
	不動産			施設運営 大京	REIT 投資顧問				不動産投資	
	事業投資			環境エネルギー コンサル				サービサー		PE投資
	リテール	銀行 カードローン、保証				生命保険				
	海外		リース 貸付金			アセットマネジメント			債券投資	航空機 船舶

- ✓ 2020年3月期の中間配当額は35円を実施
- ✓ 2020年3月期の通期配当額は、配当性向30%もしくは76円の高い方
- ✓ 持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮

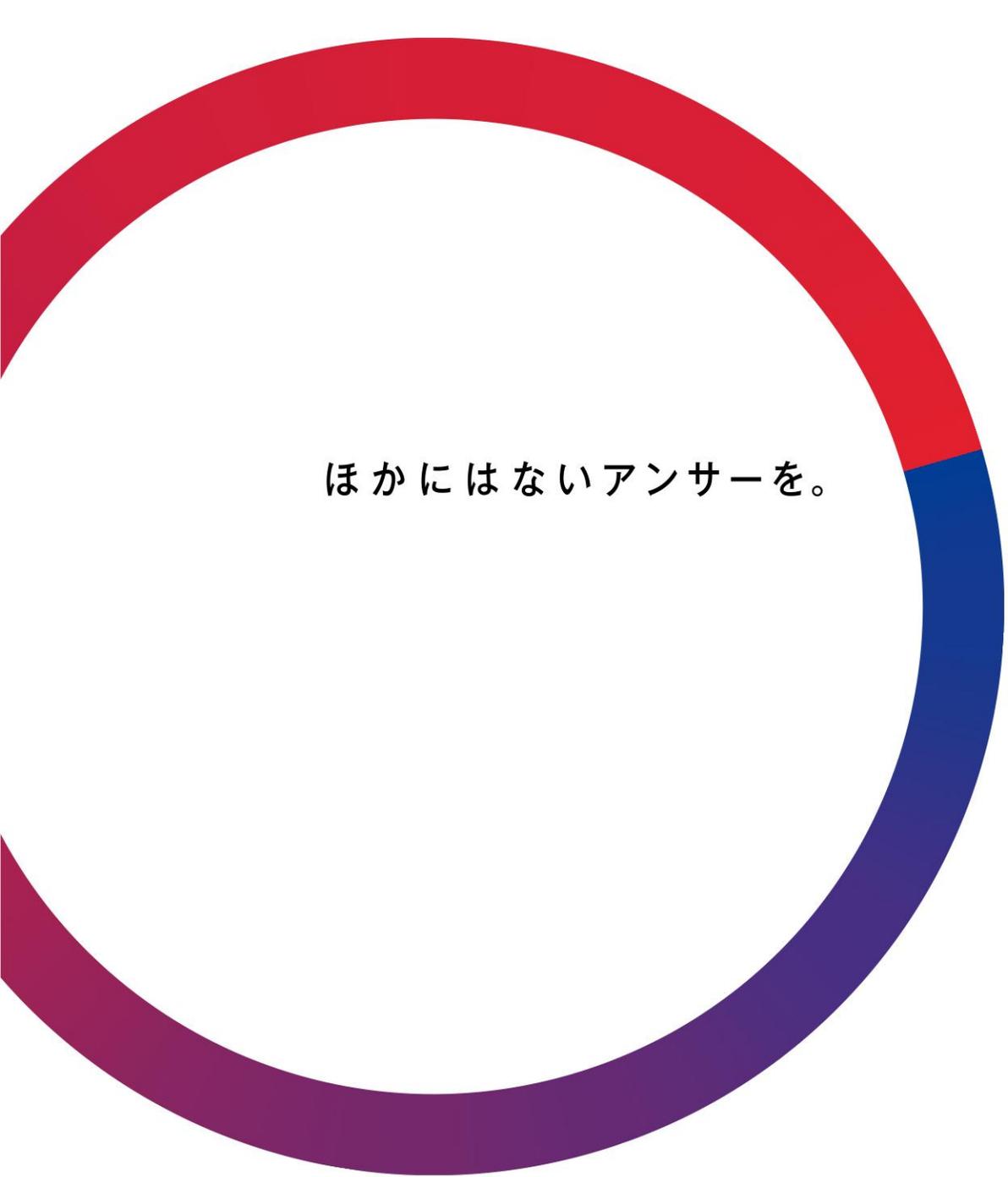


本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにより全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。



ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

IR資料室

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154